Honzo Komoku Kibun
vol. 6

W391
21

下
二冊

綱目芳
卷十
下
八

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

W391
21

書
2.3.-8
寄図

89W87968

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

補骨脂 一
蓬莪朮 四
瑞香 七
指甲花 十
白芽香 十三
耕香 十六
艾納香 十九
薑香 二十二
澤蘭 二十五
相烏 二十八
石香薷 三十一
假蘇 三十四
蘇 三十七
蘇葶 四十
薑黃 二
荊三稜 五
茉莉 八
鬱金香 十一
排草香 十四
迷迭香 十七
兜納香 二十
薰草零陵香 二十三
馬蘭 二十六
天雄草 二十九
鼠尾草 三十二
薄荷 三十五
荏 三十八
石蒜 四十二
鬱金 三
蒴藿香附子 六
素馨 九
芽香 十二
瓶香 十五
藤車香 十八
線香 二十一
蘭草 二十四
麻伯 二十七
香薷 三十
赤車使者 三十三
積雪草 三十六
水蘇 三十九

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

補骨脂
ハコシ 通名　　ヲニフシダヒユ

天豆 農耕録
故紙 萬病回春
釋名 破故紙 開宝　　補骨鴟 本草原始
破胡紙 本草彙言
婆固脂 茶性論

ヒツカグサ 莖葉松ノ葉アリ故名

破過紙 外科正宗

胡韭子 日華

享保年中ニ唐種渡ル又紅毛人持來リシ新ナル種ヲ下ノ生ス共ニ同物ナリ今和州ニ多ク栽ユ苗高サ三四尺葉ハ胡麻葉ニ似テ短シ又カリヲノ葉ニ似テ皺紋鋸歯アリ夏秋ノ交リ葉間ニ一寸許ノ穗ヲ出シ花ヲ開ク形ハギノ花ノ如ク浅紫色也後圓小實ヲ結ブ大サ一分餘熟ノ外皮黒ク内ニ子アリ形圓扁ニシテヲ欲ニ培養スルユヘ氣味薄シ瘠地ニ栽ユル者ヲ良トス古者苘麻子ヲ破胡紙ト名テ貨ル形能似タル故偽ルナリ

陰莖濕痺 ハコシ末服之

遺尿 ハコシ 茴香等分 湯下

腰痛 ハコシ二匁酒三ヲノ

薑黃　赤天佩　輟耕錄　釋名　謎音迷　輔仁　謎蓁　戎人名之

野薑　蓁性奇方　寶昂　細目

是唐山及ヒ琉球ヨリ別ニ渡ルニ非ス　本邦蓁舖ニテ鬱金栽茂ノ中ヨリ根ニ枝アリテ生姜ノ形ノ如ク節アリテ重キモノヲ撰ビ出スニコレヲ薑黃ト名ケ賣ル削レハ内黃色ナレトモ鬱金ヨリ淺クノ生姜ノ氣アリ即是真物ニメ琉球ノ産ナリ今蓁舖ニテ普通ニ薑黃ト名ケ賣ルモノハカレラウコンニテ鬱金ノ兎根ナリ然レ𪜈兎嫩共ニ鬱金ナリ又カレラウコンヲ細末トナシ薑黃ト名ケ賣ルモノモアリ漢種ノ薑黃ノ苗今ハ少シ和産モナシ唐山ニテモ姜黃ト鬱金ト混シ賣ルコトアリ唐山ニハ鬱金少シニテ姜黃多シ故ニ薑黃ノ老根ヲ薑黃ト云ヘリ薑黃鬱金ト云ヘリ薑黃鬱金蓬莪茂ノ三物諸說紛紛タリ而メ集解藏器色味ヲ以テ三物ヲ多別スルノ說最詳ナリ今ユニ從フ然レ𪜈三年以上ノ老薑ヲ以テ薑黃トスルハ誤甚シ又薩州ニヤマウコンノト称スル草アリ根色淺クシテ物ヲ染ルニ甚ヘズトシフコレ薑黃

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

姜黄花　京師山李

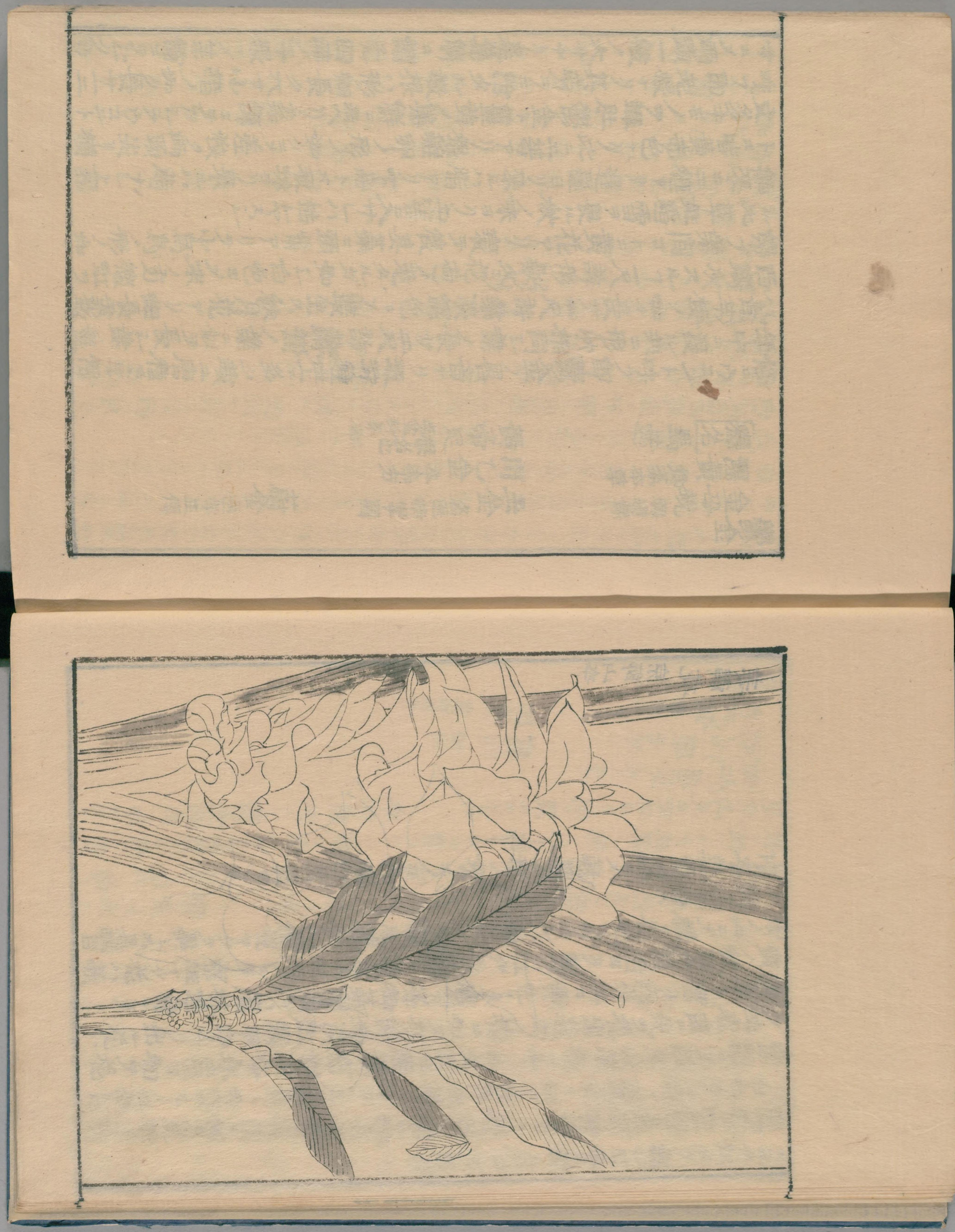
ニヨク似タリ然レ𪜈未タ親ニクコレヲ見ズ

鷹峯官園ニ舌来持渡リノ栽茂ト唱ル物有之葉栽茂ニ似テ黒班ナク背ニ白毛多シ根ハ鬱金ニ似テ色黄味辛シイカニモ姜黄トイフベキモノ也然レ𪜈官園ニテ百年以来花ナキトヲ文政三辰年京都山李永吉ニテ初テ花ヲ生春苗ニ先テ花出栽ホノ花ニ似テ本緑未淡紅舞甲中ヨリ出ル花ハ栽ホト𥫱リ内外共ニ黄色ナリ鷹ヶ峯御薬園頽リハ藤林園壽ナリ寅ノ秋江戸岩崎ヨリ恵ノ江戸官園ニテ栽ホト云モノニテ紫班ナク花ハ栽ホノ如ニノ根ニ花生ズウコニハ秋花サキ姜黄ハ春花サクヲ異トス是綱目ノ説ニ符合ス

片子姜黄扁ニノ乾姜ノ形ノ如キモノヲ云又白姜黄アリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用



鬱金

金母蛇 輟耕録

深黄 畑菜本草

[釋名] 馬荒

玉金 名医指掌圖

川乙金 本事方

黄帝足 根名也 五金粉荒決

蔚金 医学正傳

俗ニウコントヨブ即鬱金ノ畧音ナリ琉球種世ニ多シ故ニ唐種モ亨保年中ニ渡ル共ニ形状相同シ葉ノ長サ二尺許蘭薫ノ葉ニ似テ長ク葦ノ叢生ス秋月花アリ細長穂数百蟣次スルコト二尺許形(カタチ)穂冬ニ花苞ノ老タルガ如シ白色ニメ末ノ方微紅ヲ帯ブ葉間ゴトニ黄花アリ衰テ後其葉ニ頭背アリテ小鳥鳥ノ形ノ如シ此草姓霜雪ヲ畏ル秋ノ末ヨリ土窖ニ入サレハ枯レヤスシ

舶来ニ二種アリ邏羅ヨリ来ルハ脂アリ下品トス琉球ヨリ来ルハ脂ナシ上品トス皆黄赤色ナリ此ニ二等アリ根雞卵ノ形ノ如クニメ差秩ク両頭尖リ横文多キモノヲ蝉肚鬱金ト薑黄ノ集解ニ三ヘリ茶舗ニテカニヲウコントヨブ即老根ナリ其旁ラニ附タル嫩根ハ形細長ク大サ小指ノ如ク長サ二三寸ニメ両頭一般ノ大サナリ是集解ニ謂ユル四畔ノ子根ニメ茶舗ニテハ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

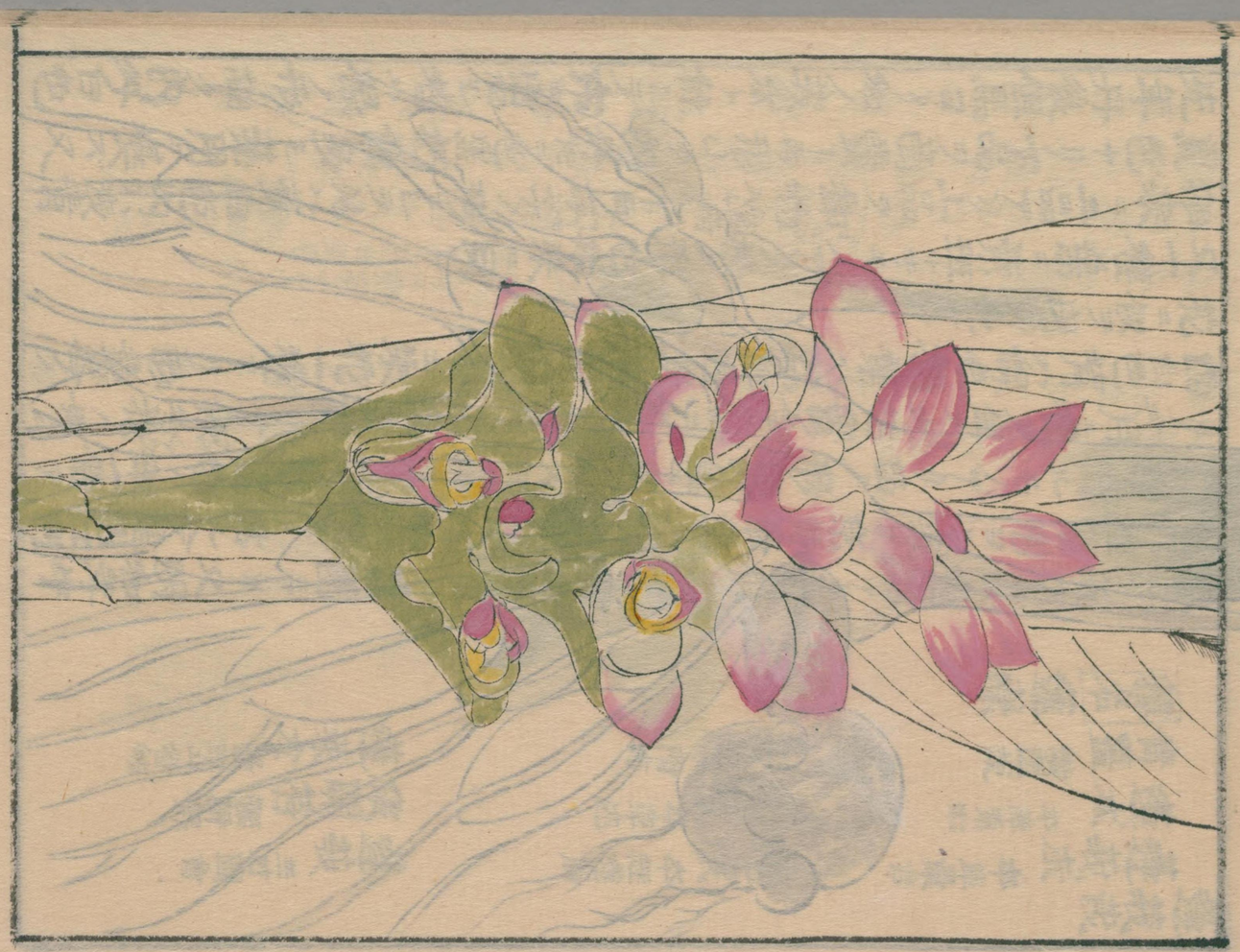
コント呼フ○ソクトハ細キヲヲ筆管ヲ谷ニ軸トス老根ハ深家ニ賣リ又姜黄ニ充テ賣リ嫩根ヲ鬱金ト為ニテ醫家ニ賣ルハ非ナリ茶ニモ老根ヲ用ユベシ
琉球ノ内十八ト云處ヨリ出ルモノ薩摩ノ御藏納ニテ御物ト号上品ナリ
茶舗ニテ折口黄ナルヲ鬱金ト折口黒キヲ姜黄トスト云
國茶須知 主治諸毒ヲ解ス發久ヲ驅ス亦破血ニ功在リ身金瘡ニ大効アリ婦人血積ニモ宜シ
白禿鬱金ニ及ビ輕粉一匁香油調敷
小兒引ツケタルニ鬱金末寒ノ紅ト永ニテトキ用ユ
諸瘡疼痛鬱金鐵漿調敷 イクニテアリニセサフラン蘭
和蘭茶說 キウルキウ一羅イニデアリニセサフラン蘭
試功石蝕瘡ノ膿アリテ解凝ノ一良茶トス大効ヲ称ス經閉ヲ通ニ黄疸ニ用テ
塞硬塞破塊殊ニ肝脾ノ壅塞ヲ疏散スルニ稍衝動ノ利尿ニ効アリ 内藏塞ニ
効多シ 水腫ニ用テ小便ヲ利シ腎病ヲ治シ結石ヲ驅出ス
京師山本永吉云鬱金ノ條ニ蝉腹又四畔子根トアルハ頭ト莖ノ二品ナリ今茶店ニアリ
下ノ品ハ川鬱金ニテ長崎ヘ来ル唐人自身用意ノ為ニ携来ルモノヲ先年長崎ヘ行タル人貰ヒ帰リシモノナリ辛卓彙言鬱金ノ條ニ根如指頭長寸許斛圓無枝而頭尖長宛如橄欖核トニ又云形如棗核而頭尖圓有横紋トス云医宗必讀ニ中而形瘦而頭尖細通身皆極細絢紋氣不辛官蜀産乃因治病甚効トスモノ皆此川鬱金ナリ此品京師ニモ稀ナルモノトヲヲ山本氏ヨリ恵ヲ故ニ其畧說ヲ爰ニ載ス

皮ニ小皺紋アリ

川鬱金

神谷克禎記之

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』請求記号 W391-21
ガラス使用

蓬莪茂

蓬莪朮 本草彙言
蓬朮 本草原始
青薑 續医説
釋名 蒁藥

蓬茂 本經逢原
廣茂 本草述
莪茂 附方

蓬莪 三才圖會
破關宥 輟耕録
蓬莱朮 羅浮山會編

畧シテ莪朮ト云通名ナリ享保年中ニ唐種ヲ渡シ官園ニアリ又明和年中琉球種薩州ヨリ来リ京師浪華ニ競ヒ栽レ𪜈皆冬ヲ經ズシテ枯ル今尾州江州ニハ栽傳ルモノアリ苗ノ形鬱金ニ異ナラズ只葉ノ中心ニ紫黒色ノ斑一條アリ六月ニ花ヲ生ズ大抵鬱金ノ如ニシテ小ク細長ナル葉多重リテ款冬花(フキノタウ)ノ如シ面白色背ハ綠色梢葉ハ深紅色其脚葉ノ尖ゴトニ朱花一花アリ形黄芩ノ花ニ似テ内黄色ナリ

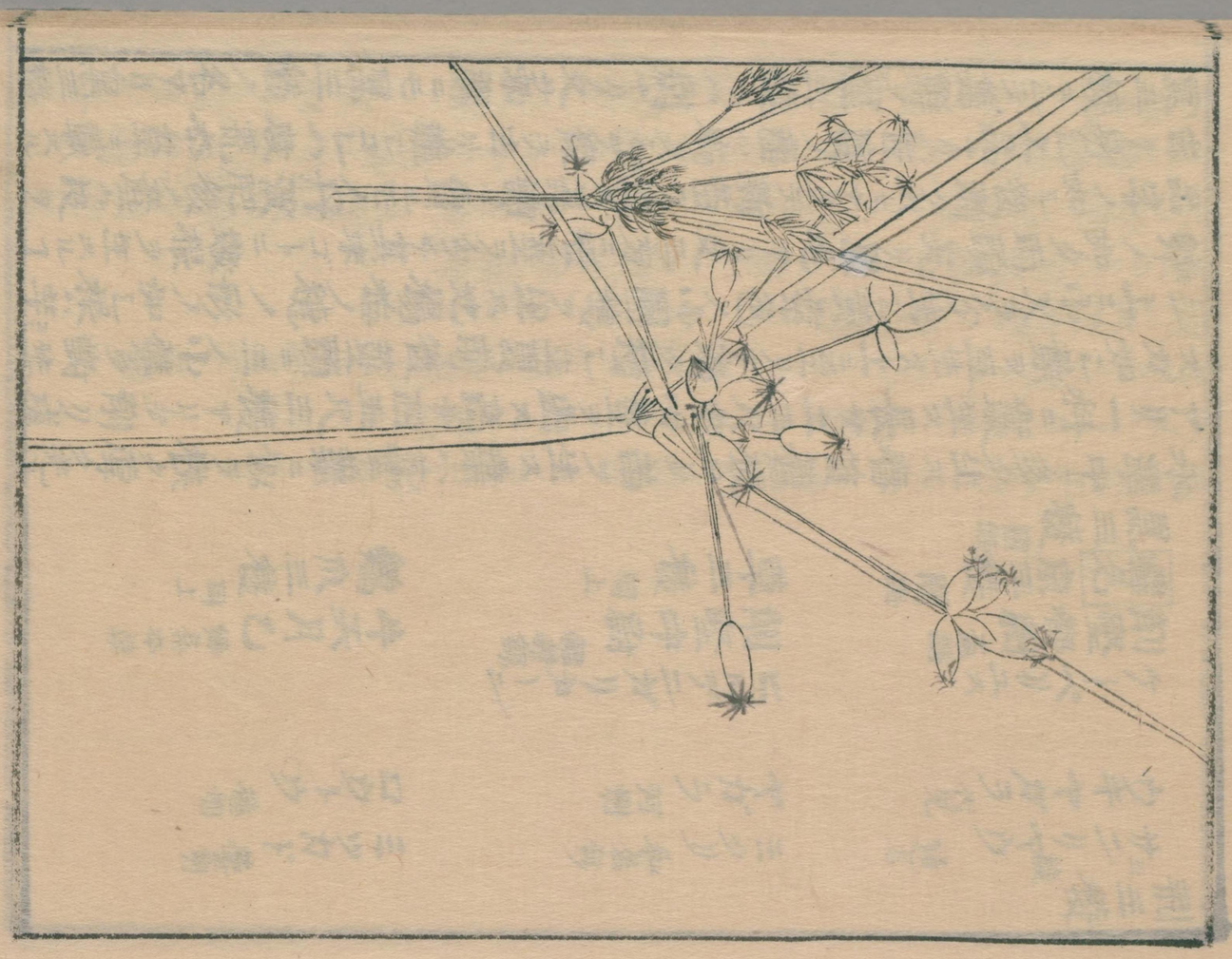
又一種葉ニ紫斑ナキモノアリ根ノ形色舶来ニ同シ舶来ニ二品アリ上品ヲ御物(ゴモツ)入ル渡ニト云芋子(コイモ)ノ形ニシテ外ハ黄白色内ハ浅青黒色ナリ下品ヲ商賣ト云形小ク内外𪜈ニ色黒朽蝕多シ薬用ニ堪ヘズ又先年丹後但馬ヨリ和ノ莪朮ト称シテ市ニ出セシ者ハ根ノ形細ク内外白色

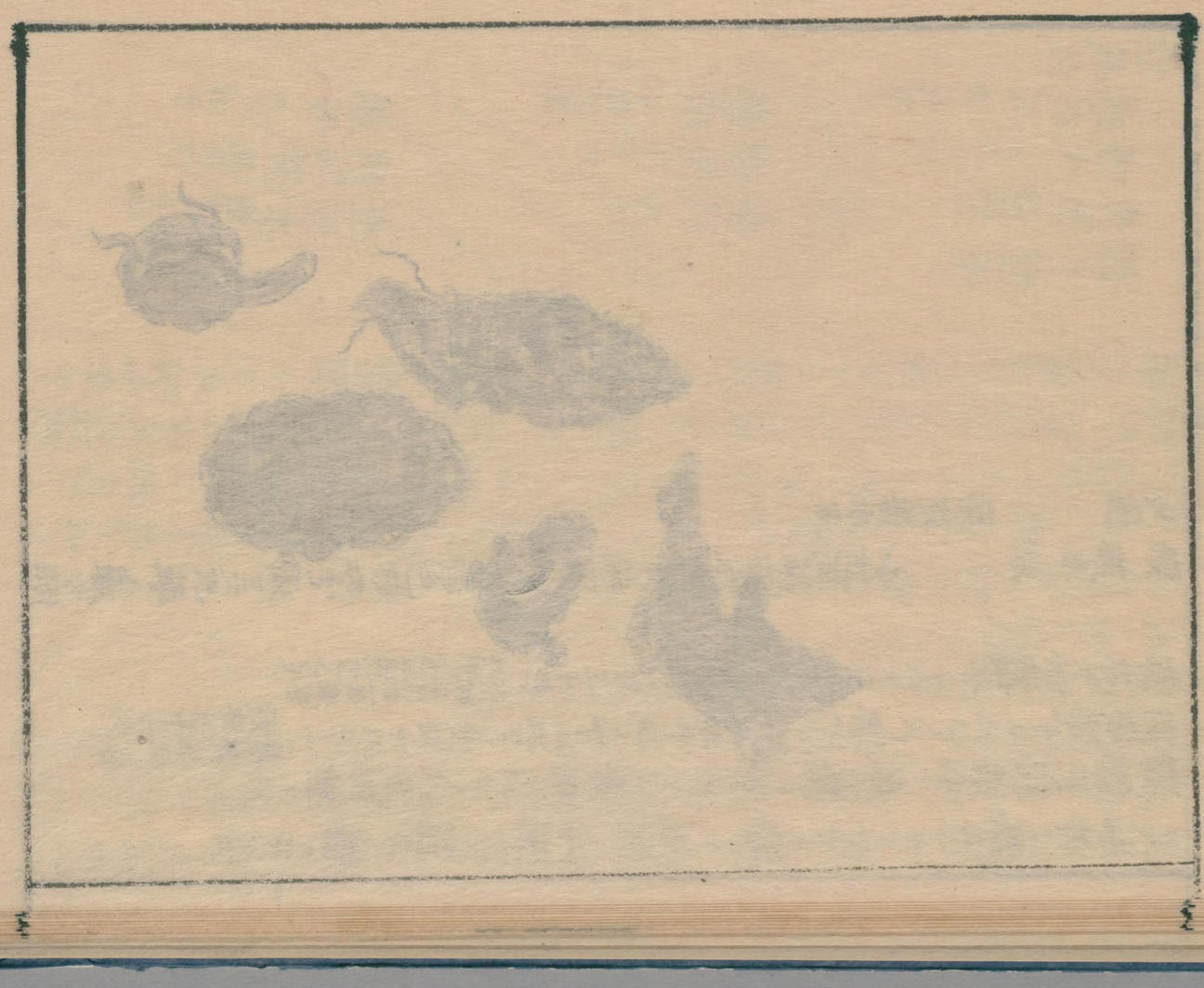
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

ニメ味苦シ是又シレイサウノ根ニメ王孫ノ一種ナリ莪朮ノ類ニアラズ
漢種享保年中ニ渡ル葉ニ紫斑ナシ紫斑アルモノハ琉球種ナリ
茂有根下ト云モノハ根下ニ卵ノ如キモノ下ル此モノヲ呑ナルベシ
莪朮ヲ竹露子ト云テウル 痰ト頭痛ニヨシト云 京師四月廿一日東寺大師ノ息日賣ルモノアリ

痰 莪朮ノ末 小兒泄瀉莪朮去皮生一両黄栢香色炒二分微ニテ九 羊ノ尿ヲ朝夕用 痰咳莪朮末

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

荊三稜

サンリヤウ（三稜）　通名
ウキヤガラ　伏見

ケーペリユス　莎譜
削堅都尉
響名 京三稜　開宝
黒三稜　圖経

水澤中ニ多ク生ス春後舊根ヨリ苗ヲ生ス葉ハ薹葉ニ似テ狹ク厚ク光リアリ一科ニ叢生ス長サ二三尺中心莖ヲ出ス高サ四五尺三稜アリテ削リ成スガ如シ葉ヲ互生ス上ニ至リテ漸ク短シ立夏前後莖頭ニ三ノ小葉ヲ叢生シ上ニ小又ヲ分生シ黄紫色ノ小圓穂ヲ出ス地楊梅ノ穂ノ形ノ如シ根ハ芋（ウィ）卵（モ）ノ如ク両頭尖リ黒毛アリ又三方ニ短莖ヲ分チ其末ゴトニ嫩根ヲ生スルヿ品字ノ如シ後漸ク大ニナリテ新苗ヲ生ス茎葉鋪ニ賣ルモノ丹波肥後ノ産ハ佳ヲ去リ易シ上品ナリ佐渡ノ産ハ麁ク シテ良ラス荒草ニ載スル黒三稜ニニテ集解ノ黒三稜ト ハ別ナリ又勅撰ニモ黒三稜ノ名アリ黒三稜

ビルデニガリヤー　輯耕録ノ
削堅中尉
草三稜　同上

ミクリ　和名鈔
ヤガラ　河州

ミツカド　藝州
ロウトウ　播州

牛天月乙　婦荣本草
鶏爪三稜　同上

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ハ是モ俗ニミクリト呼ブ蒲(ガマ)ノ葉ニ似テ狭窄ニメ三稜アリ叢中ヨリ圓莖ヲ抽テ上ニ青毬數塊ヲ貫キテ累累タリ其毬大サ六七分慈姑(クワイ)ニ似タリコレ集解ニイワユル淮南ノ江蒲根ナリ　藥用ニハ下品トス又京師ノ加茂川及御菩薩(ミソサヾ)池ニ生スルモノハ形狀畧同ニシテ尼根小シク又黒三稜ノ一種ナリ

別ニ又石三稜(アサクラガヤツリ)　草三稜(オホカヤツリ)アリ　ハルスケンケーヘルス

ミクリトハ圓キモノ三ツラクリ多チテ三角ナル形ハミクリナリ故ニ是ヲ三棱ト云一説ニミクリハ水栗ノ中畧ナリ　唐モアレ尼多クハ和産バカリナリ

熟田前新田邊ニ多シ

江州南ノ新田ツヽミヨリ三丁許手前ニアリ

莎草香附子

ハマスゲ　　ヤガラ 讃州

田頭青 清異録　　水三稜 品字箋　　雀脳香 本草原始

莎草ハ苗ノ名ニシテ香附子ハ根ノ名ナリ而シテ其苗ヲ用ルニハカヤツリグサヲ用ルヲ良トス蜀漆常山澤漆大戟ノ例ノ如シ故ニ根ナキモノヲ香附子トシハマスゲト訓スベシ宗奭ノ説ニモ根上或無トテフカヤツリグサハ品類多シ但ニ香附子ニ似テ春生シ冬枯レ根ニ堀ナシ其花ハ香附子ヨリ粗ナリ香附子ハ田野道傍甚多シ海邊殊ニ甚シ故ニハマスゲト呼フ葉ハ薹ノ葉ニ似テ少シ濶サ一分許長サ六七寸肥地ノモノハ一二尺三脊ニシテ光アリ深緑色一根ニ叢生ス夏月莖ヲ抽ルヿ一尺許其頂ニ數叉ヲ分チ上ニ碎花簇生ス莎草花ニ似テ細ク紫黄色此根ニ一塊アリ麥門冬ノ如ニシテ大ナリ黒皮有リテコレヲ累ヌ新根ハ旁鬚ニ生シ數一窠ニ生ス

莎草［鞭仁］鎬 楊玄操音古晧反　　侯莎　　賣名緹 楊玄操音他禮切

鼠蓑 同 薦和反　　根名香附子 一　　三稜草 彙疑

鳫㱔 莽訣　　鴻薞　　地髪 雜要訣

鎬隻　　青莎草 已上釈菜性

ハマスゲ

和名美久利一名佐久

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

ハヒスゲ　ミバイモ 葉ヒバノ如ニメ根ニイモアリ故名ク
ヤガラ 讃州　カフス 古名 香附子ノ音ナリ
カフス子 國彙須知　飛（カフ）蘚（スレ）
トラシスーペンシケーヘリユス

香附子　方言本草ニ長命草ノ名アリ

釋名 雀頭香 唐本　田頭青 清異録　雀脳香 本草原始
水巴戟 同上　草附子 圖經　水三稜 圖經
莎結 圖經　水莎 同上　侯莎 尒雅
地藾根 同上　夫須 別録　續根草 圖經
地毛 廣雅

田野道旁甚多シ海邊殊ニ多故ニハニスゲト呼ブ葉ハ薹ノ葉ニ似テ小ク濶サ一分許長サ六七寸肥地ノモノハ一二尺三脊ニメ光アリ深緑色夏月茎ヲ抽ルヿ一尺許其頂ニ數叉ヲ分チ上ニ砕花ヲ簇生ス莎草花ニ似テ細ク紫黄色此根ニ一塊アリ麦門冬ノ如ニメ大ナリ黒皮アリテコレヲ褁ム新根ハ旁鬚ニ生シ數塊一窠ニ生ス肆中ニ漢渡アレ圧皆黒皮ヲ去ラズメ軽虚ナリ故ニ和産ヲ上品トス和産ハ石臼ニテツキ皮ヲ去ル其時砕ケテ末トナリタルヲ粉香附子ト云半砕ケタルヲジヤリ香附子ト云形全キヲ粒香附子ト云然レ圧其舂ク時多クハ鐵杵ヲ用ユ此薬固ヨリ鐵ヲ忌ムモノナレバ薬舗ニテ山出ニト称エテ皮ヲ去ザルモノヲ用テ自製スルニシカズ又赤白ノ二品アリ白キモノハ嫩根ナリ薬用ニ良トス赤キモノハ老根ニメ下品ナリ

大坂住吉上品　泉州界ヨリ多出
ハ子上 アラヒ粉香附子ト云　唐ハ大ナリ
ジヤリ コマカニクダケタルモノ下品

國彙須知 住吉香附子名産ナリ攝州ニテ製スル故ニカク云 主治食ヲ消ス不食ノ人ニ効アリ 積聚疝痛ニ用ユ生ニテ歯牙ノ痛ニ宜シ
歯痛 香附子丁子煎含　淋 香附子一匁チサノ実五分甘草二分煎服
脱肛突出 香附子荊芥等分末白湯下　赤白帯下 香附子赤芍薬等分塩少煎服
頭痛 香附子一匁肉桂一分末湯下　ナガ血 香附子六匁生牡蛎四匁末湯下
治上氣頭疼 香附子三両枳殻二匁末酒下　金瘡上氣眩暈 香附子白湯下
小兒大腹痛不止ニ 香附子大 黄芩中 茯苓同 甘草小 振出用
淋 香附子知母甘草少煎用　疝 香附子二匁茯苓一匁黄連一匁桂枝一匁ソクイニテ子リ痛所ニヌル

一種

根ニ塊アリ

カヤツリグサ
ミツカドグサ　木曽駒ヶ沢
ハナビサウ

スゲイグサ
スガナ

莎草

ラミヂチニテノミリユス

セーペルウヲルテル

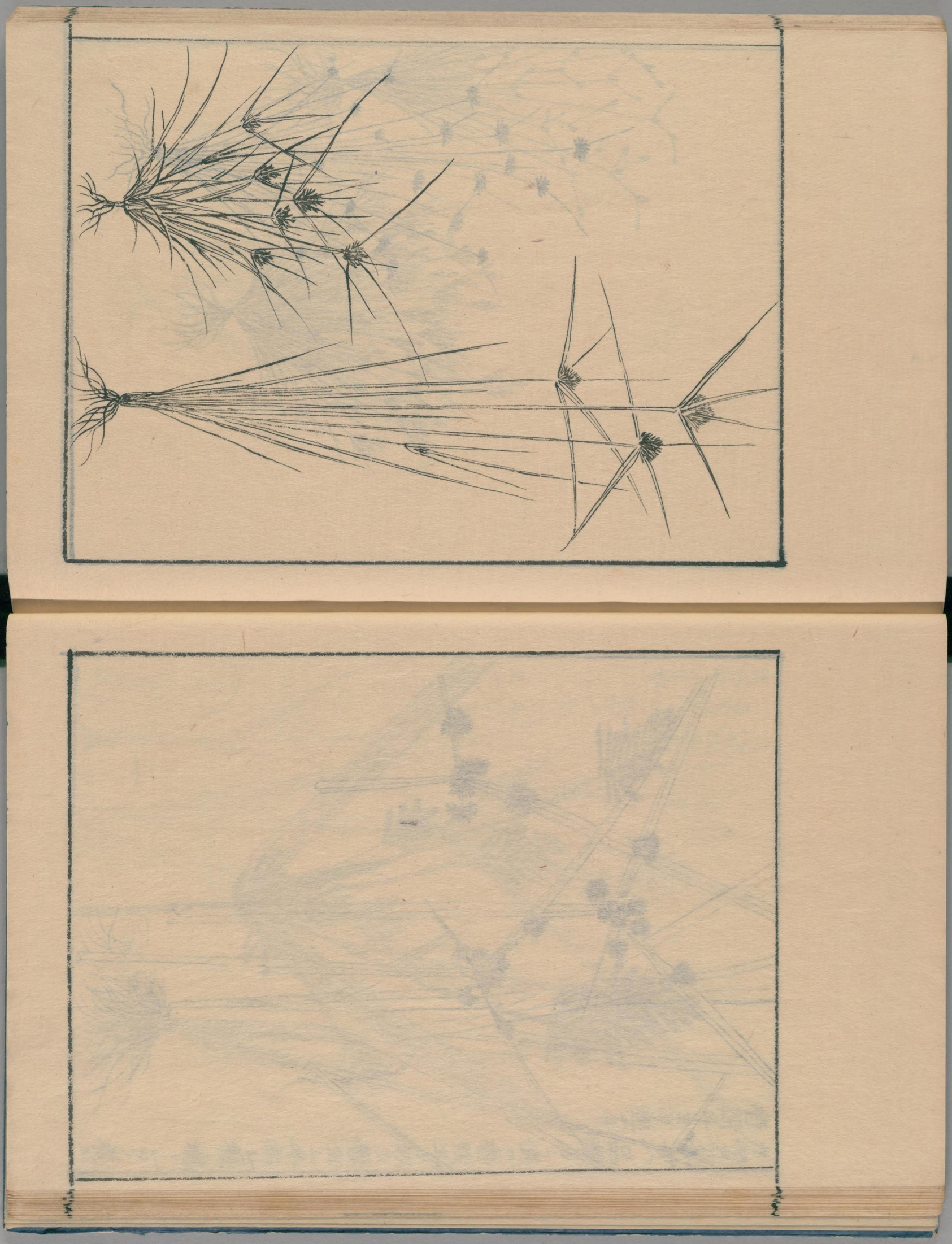
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

カヤツリグサハ品類多シ倶ニ香附子ニ似テ春生シ冬枯レ根塊ナシソノ花ハ香附子ヨリ粗キリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

カワラスガナ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

ミヅカヤツリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ヂニチヤウノケ

ミヅガヤツリ　　オホカヤツリ　　ウシクビ

田野溝川ノ傍ニ生ス　水中ニモアリ　葉カヤツリグサニ似テ長ク高サ二尺許
三稜ノ莖ヲ抽キ　秋分ノ頃　穗アリ　カヤツリグサノ穗ニ似テ淡紫黒色　葉味
微苦渋　根ハ旁引シテ　處々ニ芽ヲ生ス

国立国会図書館　　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

瑞香 五雜俎及群芳譜引廬山記曰一比丘晝寢磐石上夢中聞花香酷烈及覺求得之因名睡香四方奇之謂為花中祥瑞遂名瑞香
チンチヤウケ
ヂゴセウ
センリカウ
ズイヒヨシ 唐音
ハナコニセウ

紫風流 典籍便覽
姝友 名物法言
紫丁香 草花譜
風流樹 同上
奪香 廣東新語
蓮萊紫 同上
麝囊 秘傳花鏡
錦被堆 名花譜
佳客 事物異名
花賊 致富全書
姝友 三才圖會
蓮萊花 同上
露甲 群芳譜
芙蓉 尺牘雙魚

人家ニ多ク栽ル或ハ誤リテリンチヤウケト呼フ樹高サ三四尺枝幹繁茂ス葉細長ニシテ厚ク冬ニヲ經テ凋ニズ春月枝上ニ花アリ數十アツマリ開ク其形筒子ニシテ末四瓣ニ分レテ丁香ノ形ノ如シ大サ四五分内ハ紫紅外ハ紫赤ニシテ香氣烈シ丸香丁香ニ似タリトシテ俗ニ沉丁花ト呼ブヲ結ハズ一種葉邊ニ黃暈アルヲ金邊瑞香トシ秘傳花鏡ニ出ツ一種白花ノモノアリ

ゴセウノキトヨシ 一種葉中ノ薄ク黃花ヲ開クモノアリオニバリトシ又黃瑞香アリ和名ミツセタ
瑞香一名紫瑞香啓蟄後ヨリ咲初メ春分前後サカリ清明後ニ終ル

コセウノキ

白瑞香 瑞香ノ集解

野州大野山湯泉山ニアリ葉ヂニチヤウケニ似テ花モヂニチヤウケニ似テ白ク雨水前ニ開ク春分後ニ至ル

貴布禰藪馬ノ上ニアリ 又曰

信州ノ地多シコニヤウ禾上云 西山記ノ如ク毒ニ中ル三四果食スレハ死ニ至ル不可食

カメラーハンドイツセランド

ゲメインメセレラン

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

白瑞香一種 獅子

同實 毒アリ

此實ヲ胡椒ナリトテ誤テ食フ人アリ其辛味次第ニ咽ヘトラリテ去ラズシテ死スルモノアリ又食テ半日許煩悶スルモノアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ムスビギ

春分前後ニ花ヲ開

豆州天城山ノ北裏ニアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

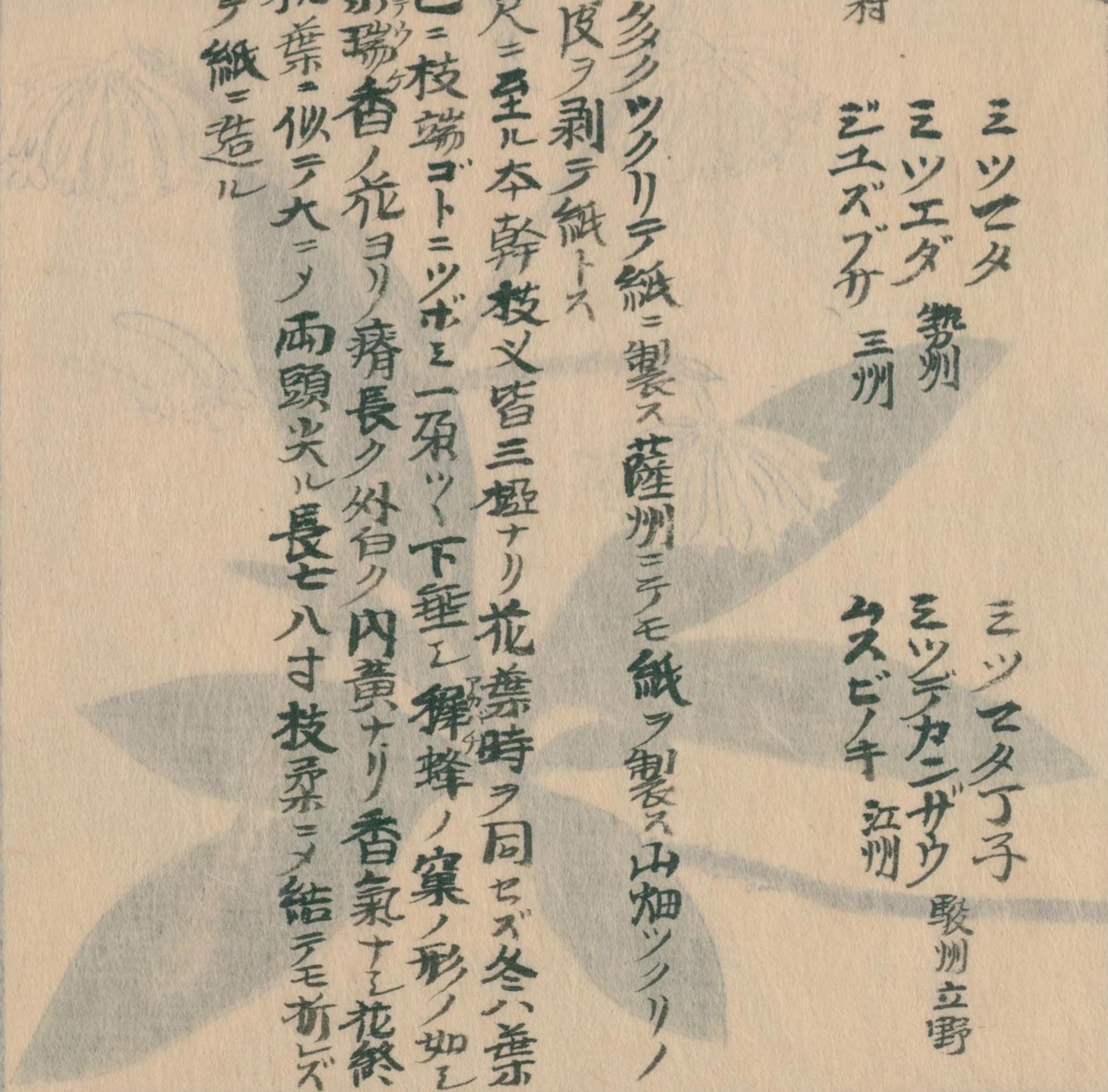
黄瑞香
ムスビギ
ミツマタヤナギ 防州
カミカヅラ 駿州今宮村

ミツマタ
ミツエダ 勢州
ジユズブサ 三州

ミツマタ丁子
ミツデカニザウ 駿州立野
ムスビノキ 江州

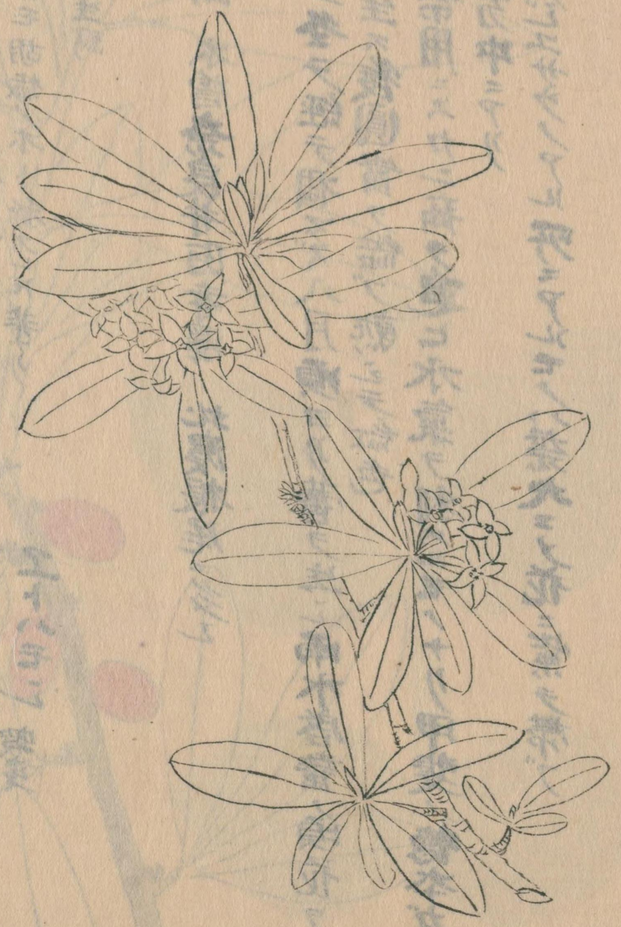
結香 花鏡

駿州由比蒲原邊ニ多クツクリテ紙ニ製ス薩州ニテモ紙ヲ製ス山畑ツクリノ出来ザル處ニ植冬ニ刈皮ヲ剥テ紙トス高サ三四尺ヨリ七八尺ニ至ル本幹枝叉皆三椏ナリ花葉時ヲ同セズ冬ハ葉ナシ秋ノ末葉落レバ已ニ枝端ゴトニツボミ一頭ツヽ下垂ス釋蜂ノ窠ノ形ノ如シ春ニ至リテ花ヲ開紫瑞香ノ花ヨリ瘠長ク外白ク内黄ナリ香氣ナシ花終テ新葉ヲ生ス夾竹桃葉ニ似テ大ニシテ両頭尖ル長七八寸枝柔ニシテ結テモ折レズ故ニ結香ト云皮ヲ用テ紙ニ造ル



花後細子ヲ結フ○駿州ノ土人此種ヲ水ニ洗ヒ乾枯セサル内ニ地ニ下セバ生シ易シ苗生ソ此ヲ分チ栽ル

ハナチャウジ



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

瑞香一種

ハナチヤウジ　チヤウジボク
オニバリ 無尽蔵　オニクビリ 甲州赤羽根
カラシキミ 木曽奈良井　カミギ 勢州坂本
黄チヤウジ コレモ胡椒ノ木ト称スレド非ナリ　三波丁子
木曽丁子 園林生寫　エトハモシ 蝦夷
ナツボウヅ 越後　ナツボウヅ 越後
オニカゾ 豆州熱海　オニカゾ 豆州熱海
三波丁子　三波丁子
エトハモシ 蝦夷　エトハモシ 蝦夷

山中ニ生ス　伊吹山　木曽奈良井　阿寺澤　北濃根尾ニ多シ

葉ノ形甘蔗ノ如ク冬ヲ経テ凋ズ八月頃ヨリ蕾ヲ生ジ雨水啓蟄ノ頃花ヲ開四出ノ黄花簇生ス後圓實ヲ結ブ熟シテ紅色ヲ帯ブ
木皮茶褐色木ヲ焚用ニスカニ痲ヲ追ヒ水氣ヲ利ハルモノナリ甲斐ノ徳本ガ十九方ノ内痲氣ノ方中ニアリ
勢州坂本ノ邊ヲクゾユサウノアル呼ニアルモノハ葉大ニシテ花ニ紫ヲ帯ブ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

モウリンクワ

立秋

茉利 モウリニクワ モレンニクハ ニリ

モリ モリニクハ ニリクハ

モレン モリノハ

冰漿 事物異名
玉饌 尺牘雙魚
鬘華 同上 群芳譜
縵華 名物方言
雕瓊

佛國傳芳 同上
抽花 泊南園史
小南強 事物紺珠
山櫨花 盛京通志
雅友 三才圖會

暗麝 秘傳花鏡
扶麗 同上
磨利 同上
雪瓣 群芳譜

釋名 素馨花

今ハモリト呼ブ 琉球ノ産ナリ 慶長年中ニ始テ来ルト云 京師ニハ寶暦ノ頃ヨリ流布ス 圓葉對生ニ蔓莿葉ニ似テ背白カラズ夏秋ノ交リ枝ノ端ゴトニ花アリ單瓣ニメ梔子花ノ形ニ似テ大サ錢ノ如シ五瓣ニメ香氣多シ色ハ白シ後黄ニ変ズ又千瓣ナルモアリ總テ申ノ刻ニ花開テ朝ハ必落ツ倶ニ霜雪ヲ畏ル秋後土窖ニ藏メ護養スベシ

花曆百詠 琉球土名モリニクハ是訛唐音モウリイノ轉訛ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

素馨　茉莉附録　玉芙蓉　秘傳花鏡
那夕茗　群芳譜　可憐花　閒情偶寄
和産ナシ琉球種薩州ニアリトモ正字通茗字ノ註ニ今廣州素馨花或作那悉茗段成式又曰野悉蜜出拂林波斯花五出白色不結子通雅曰素馨花四瓣此微異耳五羊城外三十里有花田ニ万南漢劉鋹之姬曰素馨死葬于此故名花田多生那悉茗即以素馨呼之香不及茉莉之清也又廣東新語ニ詳ナリ
唐山ニテモ諸說紛々タリ或ハ茉莉單瓣者トモ（典籍便覽）或ハ茉莉千瓣者トモ（名花譜）或ハ茉莉重臺者トモ花譜ニ說共ニ誤ナリ南方ノ産ニノ別ニ一種ナリ
那悉茗　同上
茵客　事物紺珠

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

素馨　長崎官園培養

白花微香アリ

指甲花
ハゼモクコリ
七里香 草花詳註闕書 南山志同名多シ
蓍桂 八閩通志
寶木犀 南寧府志
散沫花 南方草木狀
水木樨 名花譜 恕菴先生モラシニ克ルハ穏ナラズ 花鏡

海濱ニ生ス高サ一二丈種樹家盆ニ上スモノハ一尺ニ過ズシテ花ヲ開ク者アリ葉ハ海楓花ノ葉ニ似テ短ク厚シ互生ス冬ニヲ經テ枯レズ常ニ紅葉ヲ雜ユ夏月葉間ニ小黄花ヲ開ク木犀ニ似テ小ナリ
阿波海部郡海邊ニ多シ方言ヒコハチ

ミヤリンバイ 三州西尾邊
イヌ 八丈島
ハマモノコノ
カラスギ 志州国府
クロコ 志州國府

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

鬱金香

詳 ナラズ

酒豆 河間府志

釋名 鬱香 御覽

草鬱香

紅藍花 綱目

茶矩摩 佛書

紫述香 同上

漢渡和産共ニナシ古鬱ヲ煮ノ酒ニ醸スルモノナリ卿菜本草ニ以テ鬱金ノ花ト為シ卿名深黄花トシハ誤ナリ蛮人携来ル花譜ニコノ花ノ圖ヲ載ス葉ハ水仙葉ノ如ク花ハ躑躅栗花ノ如クニシテ色ニ數品アリ

カヴハウ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

カハミドリ

茅香

カウバウ 江戸

線子檀 輟耕録

釋名 嗢尸羅 金光明經 香麻 時珍曰蘇頌圖經復出香麻一條云出福州煎湯浴風甚良此即香茅也閩人呼茅曰麻故兩存併為一

武州原野處々ニアリ秩父ニモ産ス

木曽末川熊橋ノ邊同叢原ノ塩澤

春ノ後ヨリ穂ヲ生清明前後ニ盛ナリ穀雨前ニ至テ高六七寸スヽメノカタビラノ穂ニ似リ夏ニ至リ心ヨリ長葉ヲ生ジ白茅葉ニ似テ白色ヲ帯ビ香氣アリ採テ陰乾スレバ香氣弥多シ根ハ白色ニメ細長土中ニ繁延ス根

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

排草香

留香草 廣東新誌
穿心草 物理小識
排草鬚 尊生八牋

養香 同上
隨手香 貴州通志

カハミドリ　ハナヤグノカウ
和ノクハノカウ
ムケカッレ 腰巻

唐山ヨリ古ハ葉ノミヲ渡ス其後ハ根ノミヲ渡ス三十年モ中絶シテ明和庚寅ノ年ニ又根ヲ多ク渡ス細鬚根長サ一二尺灰白色ニメ微シ香氣アリコレヲ髢根(モジデ)ト呼ブ此内ニ葉ト灰トヲ多ク雜ユソノ葉カハミドリニ異ナラズカハミドリハ山中ニ自生アリ人家ニモ多ク栽テ和ノ藿香ト呼ブ苗叢生ス方莖高サ五六尺葉ハ續(ツヅリ)斷(サヽ)葉ニ似テ両對ス生ノ時ハ香氣多シ乾ヒバ香氣ナシ又白花ノモノ淡紫花ノモノアリ漢渡ノ埋藿香ハ此ノ草ノ葉ト同シニ故ニ市人モカハミドリノ葉ヲ以テ埋藿香ヲ製ス然ドモ眞藿香ハ泥土ヲ以テ製スルヿ諸本草ニ其說アルヿヲ聞カズ

廣東新語曰排草番舶入種之動至數畝以其葉售于海外諸番云云其根莖以合諸香為囊能使衆味久而不臧又曰六月始種排草十月收之其根長五六尺賣以合香葉以泥漬使乾賣與番人為茶又本經逢原曰以排草葉偽藿香又近年浪華舶來埋藿香中ノ土ヲ棄シ處ニカハミドリヲ生スルトキハ埋藿香ト称スルモノハ排草ニテカハミドリナルヿ明ナリ

浪華ニテ埋藿香ノ土ヨリ生タル排草香ハ只菱青ク花紫色ニメ香氣ヨロシキヨシ

濃州養老セウガタケニアリ

勢州関ヨリ伊賀ヘ越ス道カブトノ邊

木曽上松ドドメキ澤　三尾葛澤　宮越ト吉田ノ間

ミシマシロウ

春分前後白ニ淡紫色ノ細点アリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

迷迭香　ニンニクロウ　ニンルサウ
ロスマリーン
迷迭香 琅琊代醉編

紅毛ノ産ナリ苗ハ小木ノ如シ高サ一二尺枝葉對生繁茂ス葉細長ニシテ甚厚シ潤サ一分餘長サ一寸許面深緑色ニメ背ハ白シ香氣多シテ薑醋ノ氣ノ如クノ又排草香ノ如シ花ハ葉閒ニ生ス蔓荊子ノ花ニ似テ白ノメ淡紫碧ヲ帶ブ秋ハ色淺ク冬春ハ色深ノ盛ニ開ノ花後蒴中ニ一子アリ形黍ノ如ニメ稜ナシ黒褐色ナリ

藉車香
未タ詳ナラズ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

艾納香

未ダ詳ナラズ

世黎也 金光明經

單ニ艾納ト云モノハ松ノゼニゴケナリ二十一巻苔類桑花ノ附録ニ見ヘタリ

[集解] 𣰽毹ハ ハナモウセン 㲪毲ハ ラシヤ

艾納 内痔及痔血時出艾納霜湯下

兜納香

未ダ詳ナラズ

国立国会図書館 タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

線香
和漢通名
香綫 廣東新語
香蒸ヲ粉ニノ細クカタメ線ノゴトクニ製ス舶来古渡ハ最佳ナリ大官香中官香小官香麝臍香等アリ新渡モ數品アレド大ニ劣レリ和製モ數多クアリ

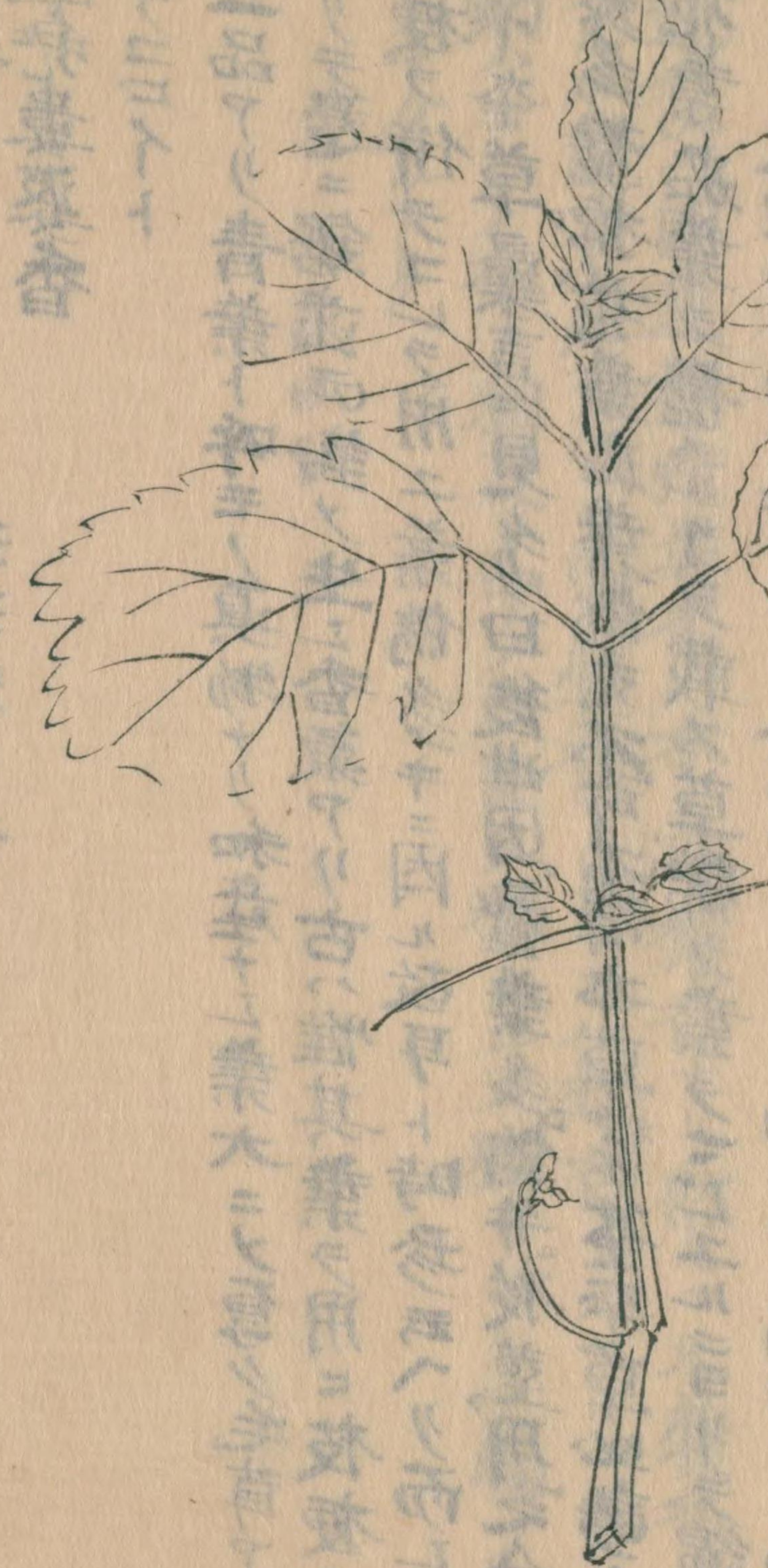
集解 速香ハ即速�important 麝香ハ木ノ部攘香ナリ然ルニ又霍香ノ條ニ入テ一名トスルハ誤ナリ此方中ニ已ニ霍香アルトキハ攘香トスベシ
楡皮麪ハニレノ木ノ粗皮ノ中ノ白皮ヲ粉ニシテ糊トナシテ物ヲ續ベシ
卿箭ハツキダシナリ

藿香
霍去病事物異名
釋名 兜婁婆香
カツテコロイト
珍珠霍去病 蒸譜

舶來ニ二品アリ青葉ト呼モノ真物ナリ和産ナシ葉大ニメ厚ク毛茸アリ五ツ許刻缺アリテ鋸歯両對ノ生ニ香氣アリ古ハ惟其葉ヲ用ニ枝梗ヲ不用今人ハ枝梗ヲ併テコレヲ用ユ葉偽多キニ因ル故耳ト時珍云ヘリ而シテ其枝梗共ニ偽ルト雖モ草稾言ニ見タリ曰後世因藿葉多偽并枝莖用之今枝莖尤多偽耳市家多攪棉花葉茄葉偽充不可不擇本草蒙筌本草必讀本草原始ニモ綿花葉茄葉ヲ攪スルコヲ載ス草綿ノ葉ヲニゴユルニヨリテ綿花モテ、混ズルアリ又埋藿香ト呼モノハ土藿香ト云舶来ノ偽物ナリ即排草ノ葉ニノ藿香ニアラズ 本邦ニテモ製ス詳ニ排草ノ下ニ辨ズ倩考ベシ本經逢原ニ以排草葉偽充ト云唐山ニテ排草ヲ偽リ代ヘ用ルニヨリ家ニモ栽ユ故ニ本草彙言ニ說トコロ藿香ノ形狀ハ排草ナリ因テ先年唐山ヨリモカハニドリヲ藿香ト称ノ苗ヲ渡セシ尼生ノ時ハ香氣アリ乾ケバ香氣ナシ其形狀亦舶来ノ青葉ノ藿香ト異ナリ是藿香ノ偽物ニメ實ハ排草

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

香ナリ
和ノ埋藿香ハナスビノ葉ニテツクルモノアリト云
廣東新語ニ嶺南ニテ排草香ヲ土中ニ埋蛮人ニウルト云即是也
漢種藿香享保年中ニ渡リ其年ノ冬枯ル栽タル地一間四方許土ニ香ヒタルヨシ
霍乱食傷吐瀉共ニ痧之薬藿香木香益智子甘草少入リ出之用



薫草零陵香
鈴鈴香 夢溪補筆談　陵陵香 壽世保元　零香草 廣西通志
鈴子香 同上　零零香 外科正宗　燕草 名物法言
丹陽草 鎮江府志　多掲羅 金光明経　芩香 事林廣記
【釋名】薫草 別録
陵香 同上　香草 開寶
黄零草 玉冊　燕草 綱目

舶来ノ零陵香ニ豆葉採麥藁採ノ二品アリ
豆葉採ノ零陵香ハ一名豆ニ採ノ零陵香トモ呼ブコノモノ真物ナレトモ久シク渡ラズ
苗ヲ一尺許ニ切テ束ヌ葉ノ形ハ薄荷葉ノ如クニメ鋸歯ナク香氣多シ和産
漢種共ニアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

草零陵香　ベルリーケンテリロヘレン

零陵香サツマ方言カバニグサ

麥蒿様ノ零陵香ハ古渡モアリ明和七年ニ多ク渡リ其後モ追々来ル苗ヲハ尺許ニ切テ束ネルモアリ三十莖空ク光澤アリ麥蒿ノ形ノ如ク葉小ニメ互生ス形ハ苜蓿葉ニ似テ微ニク長ク鋸歯アリ莖頭ニ穗ヲ成ス長サ一寸許花ハ胡枝子花ニ似テ小ニ枯物ナル故色ハ見分ガタシ香氣多ニ是救荒本草ニ載ルトコロノ草零陵香ナリ曰又名芸香今人零陵香訳多以此物代用ト今種樹家ニテ唐種ノ黄者ト称シテ售モノアリ即草零陵香ノ一種ニメ黄者ニハアラズ形狀麥蒿様ニ同シク香氣多ニ總州ニ自生アリ

又山海經ノ薰草ヲゴヤカウサウニ充ル古説ハ穏ナラズゴヤカウサウハ生ノ苗葉ヲ搗動スレバ其氣麝香ノ如ニ葉ヲ採収ハ乾セバ香氣ナシ蒿苑詳註ノ麝草ニ近シ

琉球零陵香トテ先年浪華ヨリ持来ルモノハ薩州ノ産方言モロコシグサト云國ニモアリ上総ニモ産ス蘭山先生房州ヨリ採出ス近年諸方ニアルハ蒲殷堂子モトナリ此草零陵香ノ類ニアラズ三ヤマタゴボウノ品類ナリ尾州ニテ古ノ種樹家ワウゴンクハト称メ栽シモノナリ豆葉様ハ對生ニ鋸歯ナシト云

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

草麥陵香一種　立秋後

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

フヂバカマ

草零陵香ノ一種
唐種ノ黄者 種樹家ノ称ナリ 凡黄者ニハアラズ
形狀麥蔓様ノ零陵香ニ似テ香氣多シ 總州ニ自生アリ 此草子生ヨリ三年ニメ
苗高サ五六尺ニ至リ小黄花ヲ開ク 救荒本草ニ開洛紛蕊花トアルニ異ナリ 葵毛
空虚ナラズ 故ニ草零陵ノ一種トス
啓蟄前後出芽
又曰
草零陵香ノ一種 天保年中舶来アブリカ洲ノ中カップノ産由ニノンリルトス云

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

蘭草

フヂバカマ
ワーテルプールケニス

羅二 古哥書

不老草 本草必讀
爛昂兒 茶性箋要
辟汗香 李經逢原
國香 左傳
【釋名】蘭 綱目
女蘭 大澤蘭 炮炙論
省頭草 綱目
千金草
【輔仁】蘭香 陶弘景註
薰蕙

醒頭草 本草兩詮
秋蘭 楚辭
佩蘭葉 名物圖考
待女 因樹屋書影
水香 本經
香草 綱目
蘭澤草 弘景
都梁香 李當之

都梁香草 同上

醒頭香 物理小識
雀頭香 通雅
王者香草 家語

香水蘭 開寶
燕尾香 開寶
煎澤草 唐本
猴兒菊 綱目

蘭澤香草 蘇敬註

野生多シ春宿根ヨリ苗ヲ叢生ス圓葉ニシテ班點ナシ葉節ニ對シテ生ス形長クシテ左右ニ枝アリ故ニ燕尾香ノ名アリ周圍鋸齒深クシテ烈シク夏月舊ニ掛レバ二旬餘モ香氣アリテ惡臭ヲ避ベシ六七月ニ至リ莖高サ三四尺或ハ六七尺枝ノ末ゴトニ傘ノ如ク細小花多ク攅リ開ク淡紫色ナリ故ニフヂバカマノ名アリ和歌ニモ詠ズ古今集ニ秋風ニホコロビヌラシフヂバカマアリ

葉ニ蘭葉ヲ用ユルハ此蘭草ノ葉ニ非ザルナリ正誤ニ詳ニ弁ズ然ルニ綱目已後ノ書本草必讀本草原始其餘諸書ニ稽誤リテ蘭花ノ葉トスル說多シ

眞蘭ハフヂバカマナリ昔ヨリ蘭ト詩ニハ皆蘭草ナリ

新葉ヲ食用ス

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ヒヨドリバナ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

秩父ノ産細葉ノモノ

山蘭

ヒヨドリバナ　　ヤマフヂバカマ

山野ニ生ス葉ハ長クメ岐ナク桃葉ニ似テ鋸歯深シ又三尖ニナリテ蘭草葉ノ如キモアリ三ナ両對ニテ生ジ莖ニ斑アリ蕚ト倶ニ毛茸アリテ香氣少シ此ヲヒヨドリバナト呼ブ花ニ白色淡紫色ノ二品アリ

一種サツキヒヨドリバナ　山蘭類ニテ四月比花アルモノ

一種ベツカウフヂバカマ　熊野尾鷲ノ内ヤノ川ノ上山ヘ入口ニアリ

一種京師山本永吉云菊葉ノ山蘭トニモノハ山蘭ノ葉ノ大ヲ如此モノ

アヲバナ　木曾湯舟澤

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

熊野産

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

白山産　白露

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

蘭

蘭為香祖蘭元偶乃第一香以梃蘭為上梃者莖多岐出其葉長至三尺蕾头花大且繁多有一莖及梃開至五十餘花者色黃有紫點香味甚厚秣陵山香次則公孫稹每一大莖輒以二小莖若公領孫其花從上開下次日出深白花高出葉上甚潔白從下開上次則青蘭葉長二尺小而直其花青碧以白幹者為上青幹紫幹次之次黃蘭葉長而稍大花淡黃有小紅紋次草蘭以短葉白幹者為上其花肥喜食霜雪不資灌溉有雙花單花之別外有風蘭花如水仙黃色從葉心抽出作數朵繫置簷間无水土自然繁茂又有花如秋海棠葉藤蔓延媚名鹿角蘭葉細如鹿角海藻有石蘭生於石上與相類葉長四五寸小而柔韌花色淡白有小玉蘭花亦作淡白色甚清香有倒垂花倒從紫色有報喜蘭如蝴蝶而色紅紫香味亦同每莖作七八枝懸梢間勿侵地氣遇有吉事則開寄生者以花梱懸户上即生亦曰催生蘭是皆以空為梱以露為命乃風蘭之屬有賀正蘭每當立春及元日開有夜蘭香之不見夜乃聞香羅浮多有之凡蘭生深林中微風過之其香滿然達於外故曰幽蘭林愈深則莖愈紫香更有余而夜蘭開於夜乞凡坐絕斯

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

又蘭之隱者也有翡翠蘭六瓣三蘂色如翡翠亭有鶴頂蘭鳳蘭龍蘭皆以花形似名然不香鶴頂蘭花大面青綠背白蘂紅紫卷成筒形微似鶴頂一莖直上作二十餘花蘂甚大有朱蘭花小色麗開只一朵團丹如毬有竹蘂蘭蘂似竹似萱花則蘭也深紫叢生有微香有文殊蘭蘂長四五尺大二三寸而厚花如玉簪大色白甚香夏開始開是皆蘭之屬或謂蘭與蕙難弁允生下濕方莖赤花者為蕙非真蘭真蘭者蘂短而柔一莖一花色如玉香已噴人齒谷中亦不可多得是為真蘭然大抵春芳者為春蘭色深秋芳者為秋蘭色淺而楛蘭四時有花春秋尤盛故為蘭之偏長舊說謂楚人賤蕙而貴蘭故其室西養蕙而東養蘭南粵亦然予有種蘭經云楛以蘭蓋培以蘭泥改用豬毛之水或兼白堊之肥半陰半陽風日凝凝温湯最善人氣尤宜美人膏沐灌之繁滋於是芽抽不已葩吐無時發箭九節開楛十枝三歲一分根忌盤結瘠則少花肥則多葉凡蘭生亂班謂之鵪鶉班以佳茗和蔡子油灑葉班則自陰蘭性畏寒而荊棘氣可以溫之燥則葉黃濕則蠹置之橘柚樹下少蝦蟆眼樹下多蛇離騷香草皆服御恒珍而尤以蘭為貴言蘭必兼言蕙蘭花步而香多蕙花多而香步蘭兄也蕙其牙也蘭又女類故男子樹之不芳草木之性惟蘭宜女子樹之一名水香以其多生水旁故溱洧士女秉之以祓禊也然此蘭古謂御梁香本草以為大澤蘭其花葉皆香而燥濕不變故可刈而為佩允香草皆然今之所謂蘭者花雖香葉乃無氣又其花質弱易萎皆非可刈而佩者斯乃蕙也非蘭也沅澧所生在春而黃在秋而紫秋紫之多馥勝於春黃嶺南之蘭不然其非三閭之所采也明甚予詩猗彼幽蘭花春黃而秋紫顏色能隨時所以媚君子心非蘭無所愛幽幽君子又言花葉皆有香乃可持為佩

種蘭之泥宜色黑以日暴之泥既乾則隔以尿以火燔燒之亦勿過熟使生氣益蓋暴以取日之陽燒以取火之煖亦使泥一一成塊而爽水也泥不可滿水不可多燥濕得宜蘭斯茂故陳之使其相親深之使其相固淺之使其易芳生於緊不於實花生於煖不於寒故冬勿覆蓋春勿灌溉夏勿曬而秋勿肥候時以為珍護而後蘭乃暢盛也蘭者花之君子能知恩義有喜則報有哀則知所手植之人死必以哀麻一片拄之否則立槁

寶蘭　廣東新語

蕙蘭長二三尺莖葉離披甚弱盛以美盎以竹圈數重護之性喜陰濕亦勿過溼及以煙火相近花如珍珠如金粟一枝輒作數朵分布若鷄爪一名鷄爪蘭亦曰矮蘭一時有花色黃綠而香經久不敗白沙詩南有蕙蘭香名花人未識光風散微馨甘露洗新碧一月薰蒸未息盈在肝腦乃知方寸把中稟天地塹一名暹蘭以來自暹羅解故名

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

蘭花 通雅

ラン

媚世 酒醴類書

國香 典籍便覽

香祖 同上

幽客 同上

謝階草 同上

建蘭 本草通

王者香 名花譜

叡葉蘭 事物紺珠

待女 因樹屋書影

幽谷客 花鳥爭奇

孔子花 中山傳心錄

幽蘭 正誤

玉整花 蘭圃史

馨列侯 同上

芳友 事物異名

幽草 名物方言

義香 尺牘雙魚

土續斷 同上 根ノ名

秋蘭ハ蘭花ナリ楚辭ノ秋蘭ト同カラズ

三秋後花ヲ開

カニラニ根形ハクラニ同青幹ナルヲ青幹蘭ト云紫幹蘭ト云

ムラノラニ 熊野尾鷲ガ名物ナリ矢ノ川ノ奥半里許小滝トヲ處又二里余モ奥ニツゴヤニモアリ

イヨラニ 葉長クメ上品ナリ

豫州 紫寒蘭

越前 熊野カニカ又ヲロシトヲ北山ヨリ出ヨキ寒ラニノ出ル木ノモト在ノラコチヨリ出ツ

紫寒蘭 ヨゴレトヲ紫寒蘭ガ常ニメ沢山ナリ紫幹蘭廣東翁誌其花青碧以白幹者為上品青幹者次之トヲ花莖青白ヲ白莖トヲ上品深青ヲ青莖トヲ中品一種清香甚キアリ上品ナリ

寒蘭 熊野ニモ稀ナリ高直ナリ根建蘭草蘭ノ通リナリ廣東翁誌ノ青蘭 舍人說

青々蘭 熊野尾鷲ノニツゴヤヨリ出ルモノ上品ナリ

舞青蘭 熊野ヒノ山ニアリ葉短ク秩ニ

紅寒蘭 ナニキンコラニ コラニ ニニサキラニ

チヤボ紫寒蘭 ヤキバ 大ヤキバ

ナニキンコラニ 官蘭 ニニサキラニ 大小アリ

ヤキバ メラニ 漳蘭 蘭正誤 漳蘭ハ葉ノ名ルモノ建蘭ハ葉ノ立モノ上ヲ

官蘭 春蘭ヨリラクレ建蘭ヨリ早ク夏月花アリト李郭未見

メラニ 葉短クシヤワラカナリ

蕙蘭 建ラニハ蘭ノ蘭ノ夏花咲モノ

瓯蘭 花鏡ハクリト訓スルハ非リ香氣郁馥タリト云和産ノホクロハ香氣ナシ下品ナリ一名春蘭獨頭蘭春花サキ一莖一花香氣郁馥クリト心和産ナラヌホクロノ名クルモノハ此五四ノモノナリ漢土ニテ春蘭ニ品類アルヨシ云和ノホクロニハ香氣ナシ

ホクロニユニラニン 建蘭ノ雜葉中廣ク春花開モノオラニン 葉直立者

ニユニホクラニ 大窪曰昔ニユニホクラニトヨモノハ葉中ヒロク青ニアリ

コユニリンザイ カゲヤデ追々下直ニナリテニニノ二分バカリ〳〵ニニラニン

黄ごと

玉珍ラニ 葉中ヒロク短香氣ツヨシ 雪白葉カニラニノ如ク上品ナリ三ノ一両二分

曽心ラニ 葉長少ヤワラカ〳〵花白ニ香アリ葉カニラニノ如ク短ク花白ニ少青ヲ帯フ玉珍ラニノ次ナリ七月比花ヒラク四ニノ位デニ分二朱ホドク ニラクキラニ 漢土ヨリ素心蘭ト称メ来ル 百花録

阿波出ノ斑 小津出ノ斑 葉短 鍛治屋出 紀州ヨキ斑ナリ

羽山出 メラニ爪 ヲニラニキ 常ノ黄島ナリ

ケニラニン 葉長花ハ常ノ通

キニリヤクヘニ 花紅ニメ上品ナリ葉ハ玉珍ラニノ如ク短ク花白ニ少青ヲ帯フ玉珍ラニノ次ナリ

ニヤムロノ青蘭

蘭ハ鉢ノツモルガヨシ鉢廣クシテハ短シ

江戸ハ蘭ノ肥シラユ天ニクルモノ鼠ノ死タルヲ壺ニ入水ヲ入日ニホシ數日ヲヲラシ其汁ヲ絹ニテコシ又何篇モコシテ其汁ヲカケル折々カケテ其上ヲ清水ヲ多クカケル此水ニテ肥ヲ洗ヒトルナリ又右ノ肥ヲカケルトキハ水スケヨクシテ砂大ニ植ルナリ

横須賀 尾州知多郡入口村瀬彦助 蘭ズキニ〳〵

伊勢 内一ノセノごり宮ノ上ヨリ蘭出ルトヲ

紀州尾鷲ノ外キノハタニ多シ 大谷トヲ呼ヨリ紅カニラニ出ツ 熊野ノ五ケ村谷ノ中ニ多シ

新宮ノ方ニモ蘭多シ

熊野ニ青莖白花ノモノアリトヲ

島原出ノコココ大ニ尺余ニナル一ニノナヲ位

蘭ノコヤシニホシカノ砂ヲ鉢ニ入上ニ枝ニ究ヲ呼々ニアケ蓋ヲシテ土中ニイケ置半年ニメトリ出シ蘭ノ芽出ルヲニ三分許ヲ上ニ據置ケハヨクコユルモノナリ

又酉ヲソ、グモ宜シ 又愛毛ヲシクイモノ

葉ニ蟲ノツクハ軒下ニ許ラク放ナリ夜氣ヲ受風入モヨキ處ニヲクベシ夏ニテゴニニホシニツ一日ノ當ルモヨシトヲ根ハツニルガヨシ

蘭ノ養方五雜俎ノ説三才等蘭花ノ呼ニ委シ地錦勢ニモアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

紫カニ蘭
立冬前後

漳蘭 漳州府志 章蘭 通雅云諸曰夏蘭葉細百長秋蘭葉大而沢冬蘭葉差大葉皆冬凋秋冬蘭皆一幹十數花

虚勞人 蘭 蘭花ノ三ノ 葉一名甘草ト煎用ス 熟病 蘭獺肉 痰癖ヲ治ス 蘭葉陰干サシ二名煎服又葉ヲ門戸ニカケ置ケ疫病其家ニ入ラズ

紫幹蘭

青幹蘭
雪前後

カニラニ

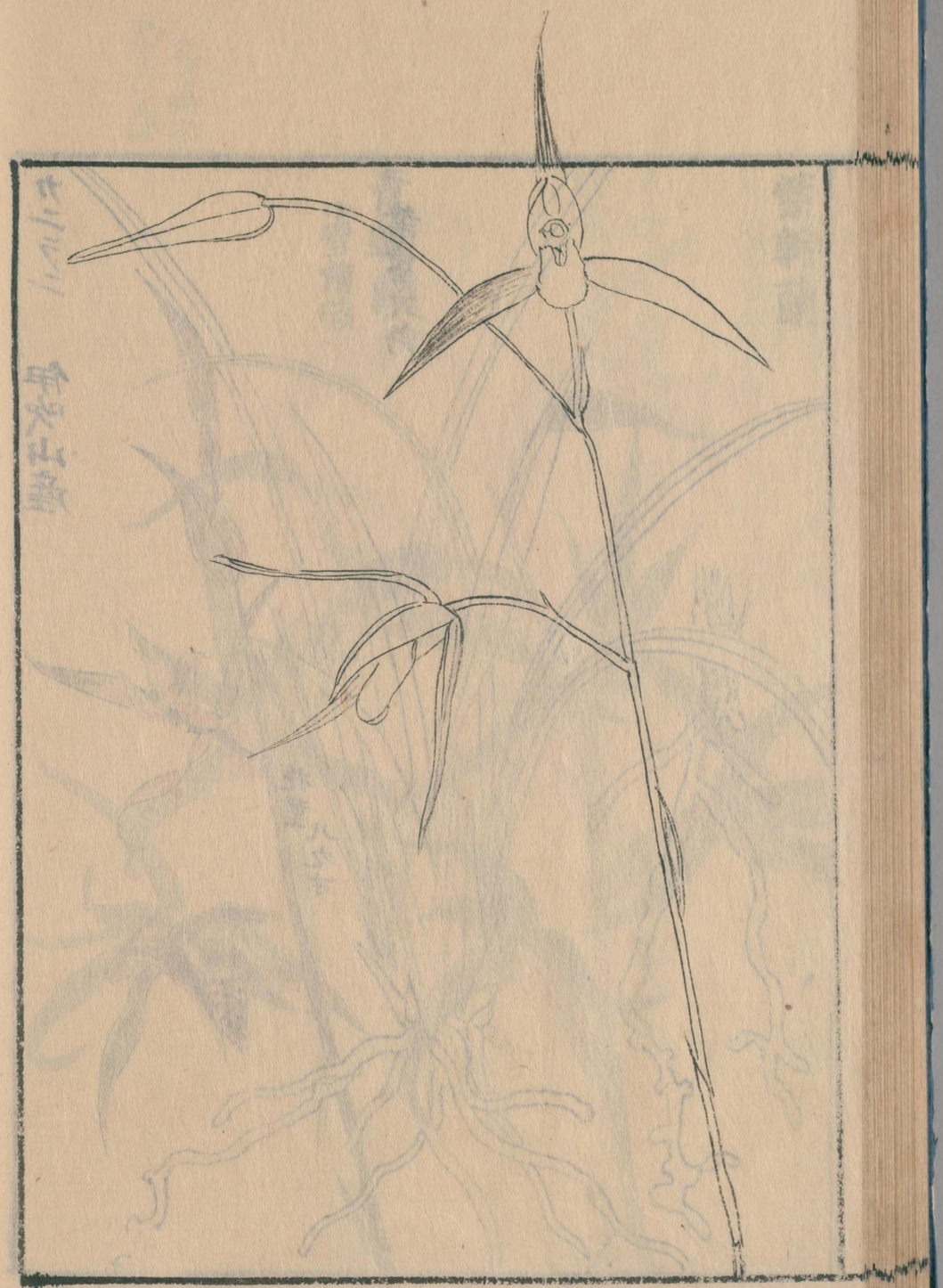
伊吹山産

葉長サ尺許

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

チヤボ青カニラン
熊野尾鷹産



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

ハグラニ

立秋ノ頃新芽ヲ生ズ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ホウラン

ハクラン

琉球産 十八ト云呼ヨリ出

葉洲サ六七分長サ尺餘ニメ光澤アリ花ハ紅寒蘭ノ如ニシテ甚長大ナリ

冬開ヲハクランニ充舎人ハクランニハ花冬ヨリ春ニ至ニテ咲ナリ

ヤクラン 中山ノ屋久島ヨリ出故名ユレヲ譌テハクラン ト云

鳳尾蘭　石蘭 土佐

ホウヲラン

セウブラン 土佐

風蘭 五雜俎花疏ノ風蘭ハ別ナリ

モト琉球ヨリ来ル 土佐ニ自生アリ又熊野ヨコチヨリモ出葉長二三尺光澤アリ 九州山中木ノ皮ニ生ト云

花ハ白ニ紅色ノスヂアリテ美ナリ

中山傳信録 風蘭葉比蘭較長香如山奈苞香茂行為盆懸挂風前極テ易蕃衍俗皆尚蘭為孔子花ニ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ナギラン
コウラン 阿州海部郡

熊野尾鷲ノ山中　駿州ヨリコノ山
阿州海部郡日和佐浦菜玉寺山中ニ於
ラニト云花形コウノ飛ニ似リトイヘリ

土産

イヅラン

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ホノリ
ハヒコリ備後
クヰラン

大蘭 大和本草 山蘭常ノ蘭ナリ

ホノリ 飛州高山
ホツクリ 泰國
ミヤムセノバナ 飛州高山

春蘭ハ一名報春先 秘傳花鏡 獨頭蘭ノ下品香ウスキユヘナリ 獨頭蘭ハ香ツヨシ
獨頭蘭 蘭譜

春蘭ノ一種 正訛

冬根ヲトリラレヅフシテアカギレニコム

ホ名
ハクリ 九州
エクリ 四國

建蘭ハ今盆種ニメ愛翫スル蘭花是ナリ福建ヨリ出スユヘニ建ノ字ヲ冠ラセタル
葉長大ニメ上ニ三コレヲ雄蘭トヨ雌蘭ハ葉短小ニメ下ニ垂ル草州ヨリ出故此ヲ漳
蘭ト名ク二種共ニ黄花ニメ秋月開ク和産アリ
和ニ紫寒蘭ト称スルモノアリ近年但馬有明山ヨリ此モノヲ出ス奇品ニ又勢州
ヨリ出葉形ホヽ名ニ類メ長ニ花紫色秋ノ末ヨリ寒中迄放香一室ニ満ツ青
花ノモノ青寒蘭トヨ漢名不詳
蘭蟲 和ニソブト名ク小蟲也葉ヲ食フ

サハニヨドリハナ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

澤蘭
サハヒヨドリ
イソベグサ
ヤヽムニ 蛾曳
唾頭草 稚露本草
小澤蘭 集解時珍說
澤名 水香 吳普
虎蒲 別錄
風荼 同
輔仁 蘭澤香 蘇敬注
サハアラヽギ 式延喜
タニワゴバカセ
煎澤草 典籍便覽
千里吉 福州府志
都梁香 弘景
龍棗 本經
根名地筍ト 嘉祐
龍求 雜要訣
アカニグサ 和名抄
タニワゴバカセ
九畹茱 輟耕錄
獨酬 月令廣義
虎蘭 本經
孫兒菊 綱目
蘭香 同上

山中溪澗或ハ池澤ノ傍ニ生ス蘭草及山蘭ニ似テ小ナリ葉モ亦相似テ稜ク小ニ莖微ク方ニシテ毛アリ苗高サ一二尺秋ニ至テ花ヲ開ク彩赤相似テ小ク淡紫色白色ノ二品アリ古来沢蘭ヲニロ子ト訓スルハ穂ナラズニロ子ハ根色白ニ故ニニロ子ト名ク蘇頌ノ說ニ澤蘭ノ根紫黒色ト云ニ合ズ且此草ハ莖葉ニ毛ナク葉尖微有毛不光潤ト云ニ合ザレバニロ子ノ澤蘭ニ非ザルヿ知ベシニロ子ハ救荒本草ニ載スル野ノ地瓜兒ニ充ベシ又蘭草ニ大澤蘭ノ名アル時ハ澤蘭モ蘭草ノ狀ノ草ナルヿ知ベシ唐山ニテモニロ子ヲ澤蘭ニテモニロ子ヲ用ニ来ルナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ユニキク

国立国会図書館　　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ナギナタグサ

馬蘭

コシキク

ユニノキク

ルリエニメイギク

ウグイヒ 備州

蓋菊 花鏡

地白根 同上

烏韭 名物法言

譽名 紫菊

惡草 通志畧

馬蘭菜 同上

竹節草 附方

馬蘭菊 揣骨方 玉机微 附方

雞兒腸ノ種類ナリ春啓蟄前ヨリ出芽葉雞兒腸ノ葉ニ似テ鋸歯深ク莖紫黑色苗高二三尺秋ニ至テ花ヲ開ク深紫ニシテ青ヲ帶ブ故ニ紫キクトモ云又白花モアリ根荒本草ニ馬蘭頭トニハ春ノウカメヲ云ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

香薷一種淡紫ニメ反張アナサヽル者俗ニ糠枝ト呼下品ナリ上京傍ニ多シ京師内藤

ナギナタグサ
イヌアラヽギ 延喜式
イヌエ 和名鈔
チズミアブラ 奥州
バガグサ 信州 甲州 飛州 濃州
ヨニヒサク 甲州浅間
バカ 木曽
カウゾエ 江州上野
ナギナタカウゾエ
ヨニド 毅斎

香薷

清涼種 穀耕録
香薷 正字通
石蘇 西江志
釋名 香菜 食療
蜜蜂草 綱目
輔仁 胡荽 本名胡荽石勃得故名香薷兼名苑
鼠麹草 指迷

堇菜 通雅
茵蔯 通志畧
香茹 医学入門
香茸 同上

蘘荷 同上
奴也只 卿茶李草
香菜 千金方
茆蒿 范注方

今ハ和漢通名大小ノ二種アリ宿子地ニ在テ春自ラ生ジ夏以後長ズル方莖ニメ枝葉對生シ毛茸アリ九月ニ至リ高サ二三尺枝梢ゴトニ花ヲ開キ実ヲ結熟ノ苗根ヒニ枯ル

小香薷ハ葉ノ形小ク長ク黄蕊ノ葉ニ似タリト時珍モ人リ黄蕊ハ牡荊ナリ牡荊ハ五葉一莖ナルモノナリ其一葉離ニタルニ能似タリ蘘荷ノ葉ヨリハ長ク香氣甚シ其穗長サ一寸餘潤サ三分許ニシテ一遍ニ連リテ小花ヲ綴リ微ク反張ス故ニナギナタ香薷トモ其色紫或藍色ヲ帯ブ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

イハカウジス

大香薷ハ葉圓大ニメ荏葉ノ如シ其穗淵長淡紫色深山幽谷ニ生ス其香氣小香薷ヨリ劣レリ茎ニハ小ク用ユ茶舗ニ售ルモノニ品アリ一ハ夏月葉ヲ採リ收ムルモノヲ葉香薷トシ一ハ秋月穗ヲ採リ收ムルモノヲ穗香薷トシ二ハ爵床葉ヲ混ゼリ一ハ秋月穗ヲ採リ收ムルモノヲナギナタ香薷トシ二ハ真ノ香薷ニメ偽雜ナシ是皆小香薷ナリ大香薷ハ茶舗ニ出サズ

【圖】【茶須知】夏月中暑霍乱ニ後世家多ク用ユ香薷ノ方アリ亦八九月蒸ラトリ陰干シテ四肢疼痛ノ者ニ葦薛木瓜三味ヲ煎メ洗フニ宜シト是ヲ經驗ナリ

口中臭 香薷一把煎含 小兒髮ラソリ生ニ香薷ヲ脅脂ニテヌル

石香薷

イハカウジユ　ヤニカウジユ　ヒメカウジユ

【釋名】石蘇　山茵蔯　通志畧

時珍ノ説ニ従ヒ小香薷ノ山中崖石ノ上ニ生シ瘠テ小キ香薷ノ香氣烈シキヲ石香薷トスベシ石トハ小キモノヲ指テ云駿州冨士山ノ麓ニ甚多シ冨士室氷山胎内ニ登ル路甚多崖石間ニ生スル瘠小ナルモノ高サ二三寸ニナルモノ多シ

イヌカウジユ

爵牀

イヌカウジユ　イヌヨモギ　君山

釋名　爵麻 吳普　香蘇 別録

輔仁　浴赤眼 老母草 蘇敬注

天香菜 野谷名也 譜疑

此イヌカウジユハ原野ニ甚多シ高サ一二尺其莖方ニシテ香薷ヨリスルド也枝葉對生ス香薷葉ニ似テ短ク毛少シ葉ヲ採ニテ初嗅ゲバ微ニク香氣アリ再ビカゲバ臭氣ヲ覺ユ八月枝梢ニ花ヲ開ク紫蘇ノ穗ノ如クニテ小ク香薷ノ穗ニ異ナリ長サ三四寸許突紫色花ノ大サ一分ニ盈タズ花後實ヲ結ブ其蒂ノ形紫蘇ニ同シ子熟ノ苗根俱ニ枯ルヽ又白花ナルモノアリ此外イヌカウジユト呼モノ數多シ

乃加々毛 醫心方

赤眼老母草 唐本

崔氏草 竜門方

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

ノチナハシヤウゴ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

赤車使者
クチナハジヤウゴ
ヤヒカゴ 加州
ミヅトロヽ 木曽
ウワバミサウ
メニガクヒ

ミヅナ 但州 木曽
ヤヒトロヽ 江戸
トロヽナ 草ニ子バリアリ根ヲスリトロヽ汁ノ如クニメ食フ故ニ名ク
ミヅナリ 南部 九円茎ニメ淡紅色透明ノモノヲミヅト云蚯蚓ノ畧
タニサギ 飛州
シヅクナ 佐州
ミヽクナ 佐州
タキナ

釋名 小錦枝 炮炙論

此草蛇過食ノ時食ヘバ即チ消ス故ニクチナハジヤウゴト云深山渓側陰地ニ生ス茎斜ニメ直立セズ葉ハ欅及加條葉ニ似テ互生ス黄緑色四月葉間ニ極テ細小ナル白花ヲ簇生ス秋ニ至テ脚葉ノ間ニ実ヲ結ブ根ハ淡紅色
多ク食スレバ腫物イボフモノチリ　濃州笹洞ヒナガタワニアルモノハ葉濶クミヂカシ
クチナワジヤウゴヲ赤車使者ニ充ル説ハ穏ナラズ
蔚状ノ茎赤キモノヲ赤車使者ニ充ル説アリ

莖葉ヲ塩ヅケ或ハ煮ルモノト云食フ

ウハバミサク
ハヒミヅナ
サンセヨウガ 江ア
サンニヨヅル

小満後葉間ニ花アリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ウハバミサウ　小葉

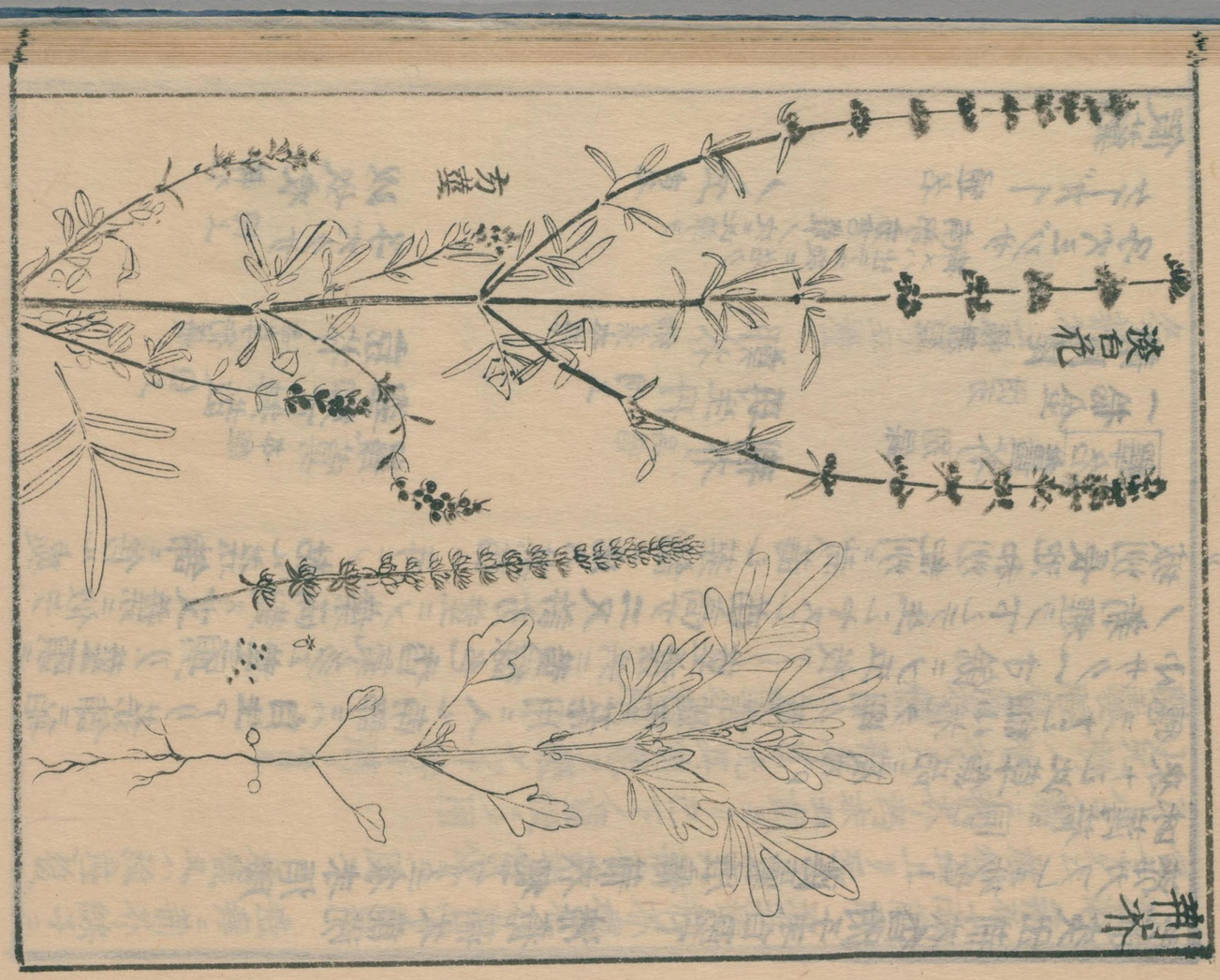
内津山 奥ノ院ヘ行道左手ノ川端ニアリ

トキホコリ

處暑白露ノ頃ノ苗ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

濃州信州ヨリモ出ス

假蘇

ケイガイ 通名　ノヽエ 古名
子ズミグサ 南部方言 鼠ノ穴ニ此草ヲ挿メハ出デス故ニ名ク　子ズクサ 同上
静風尾 輟耕録　鄭芥 郷藥本草　京芥 本草衍義
一捻金 附方　再生丹 同上　擧卿古拝散 同上
釋名 薑芥 別録　荊芥 呉普　鼠蓂 本経

城州長池和州紀州ニ栽蒔シ薬舗ニ出ス其苗一年ニメ枯ル薬舗ニ售ル處ノ新種ヲ下シテ生シヤスシ苗高サ二尺許方莖ニメ葉両對ス艾葉ニ似テ小サク一寸餘ニメ五枝アリ莖葉共ニ黄緑色香氣多シ秋ニ至リ莖頭ニ穗ヲナシ細小花ヲ開ク莖葉穗尾ニ薬用ニ入ル南部ニハ自生アリ薬舗ニ船來ナシ此草魚品ニ反ス

味薄荷ニ同シ

漆カブレニ妙也ト

陰囊腫痛 荊芥穗アブリニ為末酒服

脱肛突出 荊芥香附子末白湯下　漆瘡 荊芥煎洗

消渇 荊芥一両煎用　治五痔 荊芥槐花石菖蒲煎服　痘痒ニ荊芥綟子ニ包ミナデヘシ　産後血上リ死ニトスルニハ荊芥為末童便ニテ用ユ　産後又ハ流産後アトハラ痛ニ荊芥為末五歳ヨリ已下ノ童便ニテ用

小兒臍ノ脹タルニハ荊芥煎洗其後葱ヲ煨メツキ砕キ臍ニ付ル

陰囊腫痛 荊芥穗アブリ末ニ為酒服

タテ荊芥 一斤 四分五釐

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

薄荷

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

薄荷

ハツカ通名
メハリグサ 西國
ミヅタバコ 佐渡煙草ニ加ヘタバコ中ヲ冷ス故ニミヅタバコノ名アリ

メグサ
ハカ 和名鈔
ヒリくナ 味ヲ以テ名ク
ゴレニソ 三州

コロイスミユニト
メンタ

メザメグサ 尾州
オホアフキ 古名

氷喉扇 救荒本草
英生 御茶本草
藥蘭 同上
ニテハ花紫蘇ノ一名細目ニシテ水蘇ノ一名ナリ

炙蘇 壽世保元
婆荷 品字箋
藥蘭 正字通

藤荷 本草原始
番荷 通雅
雞蘇 本草原始 救荒本草 本草彙言 本草蒙筌

原野ニ自生アリ根ハ冬モ枯レズ春宿根ヨリ苗ヲ生ス莖方ニシテ葉對生ス形圓カニシテ淺キ鋸齒アリ面ハ深綠色背ハ紫色ナリ稍長スレバ綠色ニ變ジ形長クナレバ斷ニハ香氣多ニ秋ニ至テ高サ二三尺葉間ゴトニ節ヲ圍ミテ碎ケ小花ヲ叢簇ス色白ノ微紫ヲ帶ブ其葉舖ニ賃ルモノ和産ノニ舶來ナル城州山城ノ郷和州奈良泉州堺ニ多ク栽出ス一種小葉ノモノアリヒメハツカト呼ブ微ク香氣アリ是吾薄荷ナリ一種細葉ノモノアリ葉潤サ三分長サ寸餘ニシテ鋸齒アリ越中ニテハコノサトト呼ブ

國老須知採藥記ニ目非里草ト訓ズ是又皐ニサノサノ意ニ任ス主治喘咳痰嗽眼目赤疼齒牙疼痛口舌瘡咽喉腫痛頭痛功アリ

金銭薄荷為湯使後之醫士遂於薄荷之外加以金環銀環同煎殊欠講明夫環者乃婦人女子常帶之物垢膩浸漬

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

用以煎煮其味雖乎葵內大非所宜切須戒此昔何澄論金銀薄荷金錢花葉名金錢薄荷曰此理甚明所謂再加金銀曰煎大概錢字與銀字相近故訛以傳訛是以亦魯魚亥豕之類也

上品ヲ龍膽薄荷ト云竜脳ノ香アルカ故名ク尼云又龍脳ハ地名也此地名汝南圖史ニアリ永蘇ノ釋名ニ龍脳薄荷上云ハ水蘇ノ一名也然レ尼薄荷ノ上品ト見テ可ナリ須曰胡薄荷新羅薄荷ハ連錢草也蘇恭曰一種蔓生者功用相似ト此又連錢草ナリト 弁義

非薄荷トヨモノ京清水ノ産アタコノ麓ニアリ大山フスニノ地ニメ至テ小香氣ナシ初ハ香アレ尼後ハ失ス薄荷ニ似テ薄荷ニ非ストヨフナリ

大和ヨリ多出ス一番刈二番刈トアリ一番ニ尺許アリ二番三番ハ五六寸ナリ」

金銀薄荷ハ甲州ニアリ莖葉小ナリ上品ナリトヨフ

猫ニカマレ或ハ瓜ニヤブラレタルニ薄荷葉搗汁ヲ搽漆瘡薄荷葉煎洗 漆薄荷煎洗 慢驚風ニ薄荷根汁ヲ子リアタヘシ口中一切薄荷大ヒニナリホノキッ煎含 口中ニ物出来タルニ薄荷葉ニテクリ付ル 水入耳中痛薄荷自然汁一滴入耳中

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

石薄荷

白露前後

蘭山先生ヒメメグハ石薄荷ノ一種トス

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

カキドヲシ

石薄荷　ヒメメグサ　ヒメハッカ　ヒメタヒ　コハッカ

熊野三木ヨリ加田へ行路又加田ノイガ谷ニモアリ
總州小金原ニ産ス
國茶須知ヒメタヒ小葉薄荷又竜脳薄荷トモ主治眼瞼痛口舌腫痛喘息咳嗽頭痛痰飲支飲心下痞満ノ者ニ用ユ

カキドヲロ
ツルハツカ
カイトリグサ 同上
カニトリグサ 羽州
カイドリクサ 出羽秋田
ニムニグサ 木曽馬篭ニムニイサル花ニ付テ妙ナリ改ニ考ノ
ヲニデルハヘ

カキドウロ 筑前
カイトリバナ 同上
カイヲダハラ 奥州
カイヲニヅル 加州
ウグサ 長州
カキヲドウニン 木曽岩茆
ムニグサ 濃州ノ古名

両蘇及 時珍説トコロノ積雪草一名建錢草
海蘇

胡薄荷

道傍ニ多ク生ス莖ニハ方ニノ葉ト共ニ毛茸アリテ香氣烈シ葉ハ形圓ニメ粗ナル鋸歯アリ薄クシテ深緑色長蒂アリテ對生ス冬ヲ経テ凋ズ春ニ至レバ別ニ新苗ヲ生ジ直立スルコト五七寸ニシテ一莖ノ草本ノ如シ清明後葉間ニ花ヲ開ク益母草ノ花ノ形ニ似テ大ナリ淡紫色ニメ紫斑点アリ又色淡モアリ又青ヲ帯ルモアリ花終レバ莖地ニ偃ノ蔓草トナル

小兒急驚風慢驚風ニ用テ妙ナリ

積雪草
和名都保久佐

輔佐 停雪 救荒

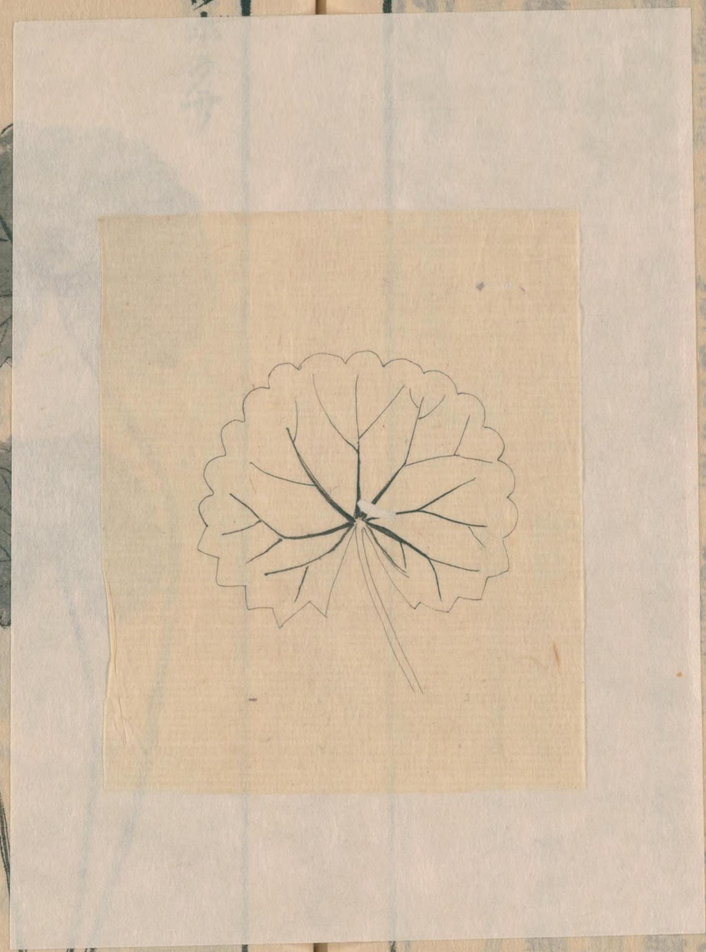
氷氷 雜要訣

國菜須知 主知頭瘡上焦辭熱小兒白禿蟲瘡積痛大便結閉眼目赤腫喉涎胃腸瘧痞満ニ宜 乳腫物古血腫ニテ痛積雪草ソバコ等分水ニテ付ル 肥瘠拜ヲ正連錢草汁敷 齒痛連錢草敷 蝮蛇咬積雪草モニ付ル 小兒急病連錢草煎用テソヲサセス 漆瘡連錢草霜香油調敷 齒痛連錢草霜梢ハニ 腫ヲ失血熱ヲ治ニ丹毒ヲ治葉ノ絞汁 連錢草ハ腫物ニ付テ血分ニ熱有ニヨシ

ツボクサ

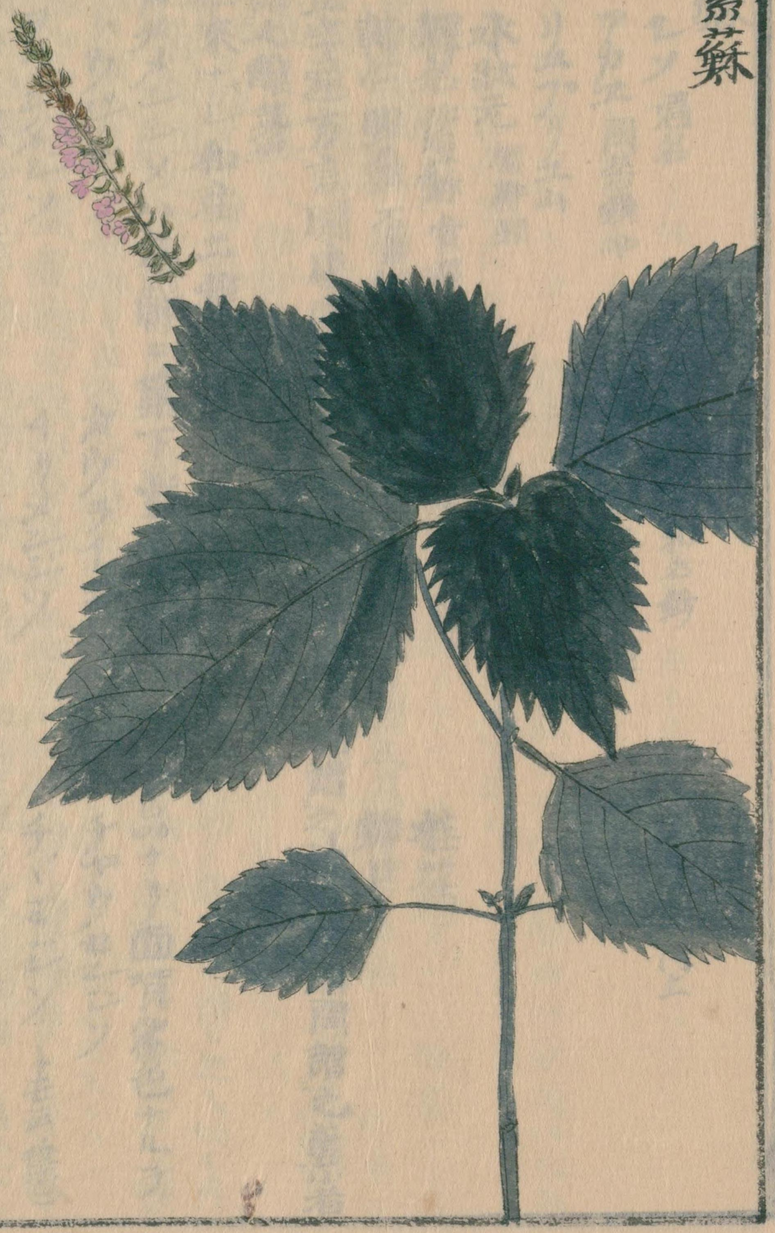
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用　挟み込み物



紫蘇

ツボクサ 和名鈔
ゼニグサ 熊野俗

クツクサ 和州

イノアフヒ 和多郡本知

冤宗奭說トコロノ積雪草一名連錢草ナリ
田野道旁墻側ニ多クシ葉ノ形圓カニシテ厚ク浅キ鋸歯アリ嫩緑色ニシテ光滑ナリ一根ニ叢生ス蔓草ニ非ス根上莖間ニ花アリ紫黄色ニシテ碎小ナル花數十毬ヲナシテ小ナル楊梅ノ如シ石胡荽花ニ似タリ夏以後ハ根ヨリ細圓藤出ルヿ尺餘節ゴトニ葉アリ地ニ就テ根鬚ヲ下セバ又自ラ朽テ數窠トナル
冬モ葉アリ 石胡荽ノ品類ナリ
膳物ツボクサハダゼリ千テ細ニメハコベノ汁メクイヲノベテ塩少加可引

蘇

ミソ 通名　ノラエ 和名鈔　ヌカエ 同上

アカエ 閩茶須知　以奴衣 輔仁本草

リユブリユム

水状元 蟹耕録　香蘇 郡芳譜

釋名 紫蘇 食療　赤蘇 肘後方

輔仁 野蘇 不香似荏者　桂荏 兼名苑　桂荏

卿日

正字通方言關東西謂之蘇或謂之荏周鄭間謂之公蕢沅湘間謂之䓯小者

謂之蘸葇

舶来ナシ 和産二種アリ

カタメンジソハ集解ニ葉下紫色ト云モノニシテ下品ナリ面背紫色ナルヲ

トウジソ　カウライジソ　チヤウセンジソ

ヲランダジソ　チリメンジソ　チヾミジソトモ云葉ニ

皺多ク鋸歯深シ

花紫蘇 集解　回回蘇 同　雞蘇 本草彙言

薬子屋ニ薬用ニ入ル城州紀州ヨリ多出ス上品ナリ

唐山ニテ紫蘇葉ヲ梅醤ノ中ニ入取出シ乾シテ砂糖ヲ合セタルヲ梅蘇ト云汝南圃史ニ見ヘタリ蒸性纂要曰蘇葉搗汁同梅子姜白切細拌以白糖名細酸可充菓食又和糖將葉包成毬名紫蘇包取葉拖麪油煎可作蔬皆爽人口甚芳香能舒暢胃氣也又江戸ニテ滷梅ヲ紫蘇葉ニテ包ミ砂糖ニ漬タルヲ甘露梅ト云是紫蘇包ノ類ナリ

國薬須知 主治風邪除寒湿瘡毒内攻ヲ表發スル或ハ浮腫実ハ水腫又ハ小便不利ニ効アリ紫蘇子ト名ク亦荏子モ湿ヲ燥ス利水ノ能アリ俗ニエノ油ト云ハ大毒アリ是ニハ桐油ヲ和入スル故ナリ

早苗ニテ葉否子ノ薬用ニ宜キモノアリ江戸 チリメンシソハ色冝ケレ𪜈葉薄ク多薬用ニ不宜ト云 早紫蘇早ク実ヲ結フ葉背紫五月頃実ニナル

成形

蘡子蘡葉南山城ヨリ多ク出ス蘡子ハ皆殻ヲ去ル其子極テ細ニシテ赭色香キ者眞也其子サ粗ク不香者ハ野荏也此ヲアラ手ト呼フ倶ニ燒キ試ムヘシ○家説蘡子殻ヲ不去ヲ佳トス 京師内藤

紫蘇

ヌカエ 三代実録 イヌエ 是蘇ノ総名也 ノラエ 以上本草和名

ムラサキグサ 葉ノ色ヲ以テ云フ

按ニ通雅云蘇辛草之惣名也紫者曰紫蘇荏曰白蘇水蘇曰雞蘇荊曰假蘇雪草曰海蘇石香葇曰石蘇是本草諸書未タ此説ナシ

蕃名ヲセイミユム 延喜内膳式ニ荏裹トアルハ紫蘇巻ニシタル醃藏ナルベシ

一種表裏共ニ青色ニシテ芳香冝キモノアリ東都ノ俗ニアラミソト云農圃六書ニ白蘇ト云ヘルモノ是ニヤ 荏ヲモ白蘇ト云ヘドモ六書ニハ荏ヲ青蘇ト云テ別ニ條アリ 今薬用ノモノハ山城紀伊相模ヨリ出ス ○葉氣味辛温ニシテ芳香ナリ ○主治氣ヲ下シ痰ヲ消ス

霍亂脹滿吐下セザルニ生ニシテ搗汁ヲ飲乾シテハ煮汁ヲ飲

食滞吐テ後煎服シテヨシ

積氣暈倒 葉ヲ水煎服急ナル寸ハ熱湯ニ振出シ木香末少入テヨシ

吐血ニハ黒豆一合紫蘇一匁煎服 一切諸傷瘀血 葉生ニテモヨシ傅

魚蟹禽獣ノ肉ニ中ルニ乾紫蘇煎服 濟急方 魚毒ニ紫蘇葉食ベシ 彙方

○紫蘇散 ○香蘇散 ○子氣味モ葉ト大抵同シ痰ヲ去ニハ葉ニ勝ル

風犬ニ咬レタルニ紫蘇葉カミクダキヌル 萬方 鼠咬ニ水煎服 同上

雙ノ毒ニ中ル ニ紫蘇汁ヲ 金匱要畧
少許飲メバ寒氣ヲ除キ身ニ快(コヽロヨキ)ヲナス是ヲ紫蘇茶トモ乾タル葉ヲ香味アリ 四方要記
血止ニ生紫蘇葉モ ヲ舟ル

生紫蘇煉テ露トナシテヲ用ヒテトル 酒中ニオキ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ヤマハッカ　エグサ 藝州　クサカウジユ 江州上野
マヽラガラ　リウノウハックワ
古説水蘇ニ充ル説ハ穏ナラズ
山野陰地ニ多シ舊根ヨリ生シ茎方ニシテ両對シ葉ノ形紫蘇葉ニ似テ小ナリ
秋ニ至リ高サ三四尺紫花ヲ開穂長サ一尺餘花ハ鼠尾草ノ花ニ似テ小ク
層ヲナシテ互生ス葉ニ微シク香氣アリ味苦クメセニフリノ如シ
駿州サツタ山産花深紫色ナルモノアリ

アヲシソ 江戸　薩州産或ハ仙臺産トモ云
花葉ノ形紫蘇ニ同シテ花白ク葉
浅緑色ニシテ香氣
紫蘇ニ同シ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ヱゴマ 畧語
ジウネン 仙臺
ジウネアブラ 南部
エグサ
ヱハ肥ノ上畧他ノ作毛ヨリ肥安ク作ヱヤスシ故ニヱト云

ヱ 古名

シロシソ

荏

菩 通雅

釋名 白蘓

白荏 正字通

藇 音魚

苗葉花實皆紫蘇ニ同クシテ香氣アリ唯葉ノ色青ク花ノ色白シ野圃ニ多ク栽ヘ子ヲ收メ油ニ搾リ雨衣雨傘ノ用ニ供シチヤンニヲ製ス又子ヲ用テ小鳥ニ飼フ原野自生ノモノヲ野荏ト云俗ニノヱト呼ブ子小ニシテ香氣殊ニ烈シク小鳥モ食フヿアタハズ唐ニハ雨衣等ニ桐油ヲ用ユ故ニ桐油ノ名アリ本邦皆荏油ヲ用ユ

○陰囊腫痛 荏葉搗爛敷之 ○竹木刺ヱゴマ実生霜等分飯ニ和シ貼ス

○狐付ヽヽ油熬膏搽陰部 ○豫防舟暈

水蘇
マヽヲガラ 古名
荏荷 本草蒙筌
釋名 雞蘇 吳普
芥苴 音祖

葉 品字箋
香蘇 肘後
芥苴 並別録

和産詳ナラズ古説ニヤヽハッカトスル モノハ穩ナラズ

勞祖 證類本草
龍腦薄荷 日月

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

西山城及丹波辺ノ土人引オコシノ葉ヲ煮テ飲メバ腹痛ヲ治ス故ニ引オコシト云

薺薴

和産詳ナラズ ヒキヲコシニ充ル古説ハ穏ナラズ ヒキヲコシハ一名エンメイサウ

トンボサウ 勢州　ムラタチ 仙臺　ヲロトド 豫州

ヲロンドド 阿州　ヲリド 土州

山野ニ多シ春宿根ヨリ叢生ス其苗甚タヤマハッカニ似タリ葉ハヤマハッカニ比スレバ稍長クシテ尖リ色浅クシテ白毛アリ秋枝ノ末ゴトニ花ヲ開クヤマハッカヨリ後レ八九月ニ開ク穂ハヤマハッカヨリ長大ニシテ枝多シ花ハ形小クシテ色浅ク牡荊(ニンジンボク)花ノ形色ニ似タリ又紫花ナルモノアリ皆其茎葉甚苦シ故ニ仙臺ニテ蝨オサヘノ薬ニ用ユ蔵器薺薴ハ味辛温ト云ヒ又可為生菜ト云フヒキヲコシハ味苦ク且臭氣アリテ生食スベキモノニ非ザレバ薺薴ニアタリガタシ

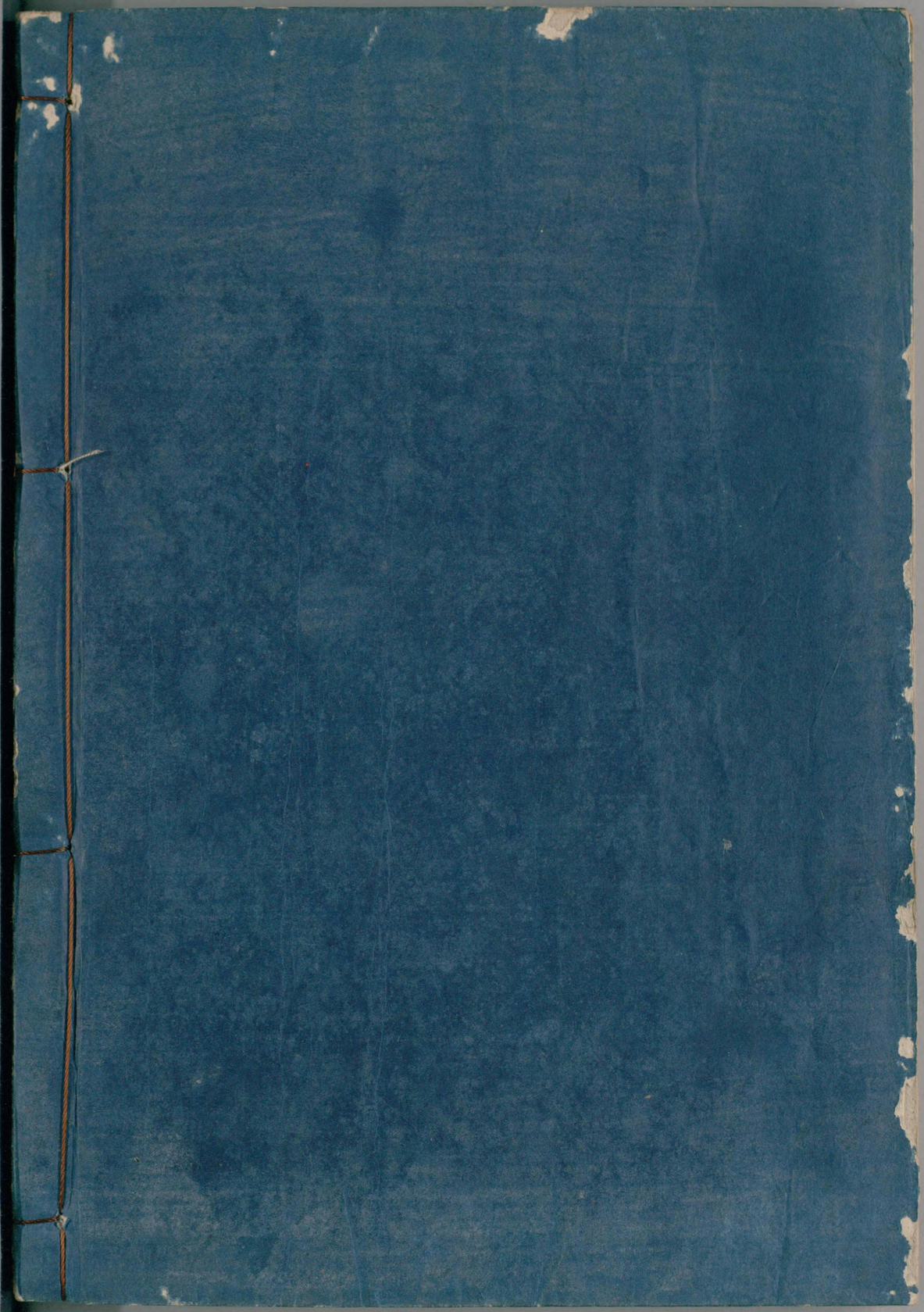
附録 石薺薴

和産詳ナラズ ニガクサニ充ル古説ハ穏ナラズ ニガクサハ丹波ニ多クアリ茎葉花實共ニヒキヲコシニ似テ形小ナリ土人腹痛ニ用ユ苦味アル故ナリ京師ノ深山ニモ稀ニアリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用